

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称

南福岡市民館長寿命化改修工事

2. 工事場所

川越町大字南福岡地内

3. 建物概要

建築図による				
**棟	**造	*階建	延べ面積**、***、**㎡	用途区分(*)項
**棟	**造	*階建	延べ面積**、***、**㎡	用途区分(*)項
**棟	**造	*階建	延べ面積**、***、**㎡	用途区分(*)項
**棟	**造	*階建	延べ面積**、***、**㎡	用途区分(*)項

用途区分は消防法施行令別表第一による表記

Ⅱ. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。

- ・三重県公共工事共通仕様書（令和5年7月改定版）
- ・三重県建設工事実務必携（令和5年4月1日版）
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各令和4年版）「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各令和4年版）「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編 各令和4年版）
- ・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）
- ・電気工事業の業務の適正化に関する法律
- ・電気工事法
- ・労働安全衛生法
- ・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）
- ・電力会社供給約款
- ・その他関連法令、関連諸基準

Ⅲ. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 一般事項

(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。  
(2) 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。  
なお、設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。  
(3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。

2. 技術検査

中間技術検査 実施回数（\*）回 実施する段階（\*\*\*）

3. 火災保険等

三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加え、その加入証券等を提示しなければならない。

① 保険の目的物

工事的物及び工事材料（支給材料を含む）

② 保険の加入期間

工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間

③ 保険金額

原則として請負金額に相当する金額

4. 足場等

●別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で利用できる。

- ・本工事で設置する。

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第2章2.2.2より足場の種別は以下による。

- ・内部足場（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ・G種）
- ・外部足場（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種）

高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）によるものとする。

5. 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

6. 電気工作物の種類

・一般電気工作物 ●家用電気工作物

7. 電気工事士

電気工事士の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。

8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律

電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

9. 電気保安技術者

電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。  
また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。

なお、電気主任技術者の立会費用は、下記のとおりとする。

- ・受注者負担 ・不要 ・その他（ ）

10. 品質計画

品質計画については、監督員の承諾を受けること

11. 測定機器の校正等

試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）等を提出する。  
また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。

12. 施工計画等

受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。  
なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。

① 総合施工計画書

包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。

② 工種別施工計画書（施工要領書）

各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。

③ 施工図（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図）

主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。

④ 耐震計算書、幹線計算書等

⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など

13. 機材等

工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。

① 使用機材届出書

② 機器明細図

使用機材届出書に記載のもの他、監督員の指示による。

③ 各種計算書

設計図書による他、監督員の指示による。

④ 機材の品質・性能証明

設備機材については、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料（「建築計画・設備機材等品質性能評価事業」（一社）公共建築協会）による場合は評価書の写し）を監督員に提出する。また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。  
建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。  
三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員との協議による。  
(認定製品の品名： )  
下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努めること。  
(認定製品の品名：間伐材製工事用バリケード・看板・標示板・ )

14. 工事写真

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和5年版））に従い、工事写真を撮影すること。  
なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建築第14号）」による。

15. 施工条件

監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。

(1) 施工可能日

- ・指定なし
- ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）

●指定あり

指定日（・施設休業日 ●打ち合わせ ・その他（ ））

(2) 施工可能時間帯

- ・指定なし
- ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）

●指定あり

指定時間（（・）時～（・）時 ●打ち合わせ ・その他（ ））

(3) 概成工期

・適用する（工事期日より（ ）日前） ・適用しない

(4) その他

( )

16. 埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。

- ・試掘調査を実施する（発見された場合、発掘調査等の実施あり） ・発掘調査等の実施あり

17. 部分引渡し等

部分引渡し等がある場合は協力すること。

- ・部分引渡しあり ・部分使用あり

該当部分（ ） 時期（ ）

18. 事故の発生時

工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。  
なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。

19. 建設副産物情報交換システムへの登録

請負金額100万円以上の工事について、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。  
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。  
なお、各計画書及び実施書の作成等は、J A C I C が運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

20. 発生材の処理等

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。  
分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。  
分別解体等の方法  
工程 新築 ・増築 ・修繕 ・模様替 ・解体 ・その他（ ）  
分別解体の方法 ・手作業 手作業、機械作業併用  
(1) 引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。  
( )

(2) 特別管理産業廃棄物

・変圧器 ・コンデンサ ・その他（ ）  
現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。  
なお、施工に際してP C B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。

(3) 現場内において再利用を図るもの

・発生土 ・その他（ ）

(4) 再資源化を図るもの

・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・（ ）

(5) 水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの

●蛍光灯 ●H I Dランプ（高輝度放電ランプ） ・その他（ ）  
「水銀廃棄物ガイドライン 第3版」（令和3年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課）に基づき適切に 処理すること。

(6) 発注者へ引き渡すものについては「現場発成品調書」を提出すること。  
また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。

(7) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。

21. 電子納品

(1) 工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。  
(2) 工事完成図書は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。

22. 官公署への手続き

工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。  
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。

- ・消防設備関係 ・電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係 ・その他（ ）

23. 消防法関係の手続き

(1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成  
・本工事（ ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ） ・別途工事  
(2) 防火対象物使用開始届出書  
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

24. 工事用仮設物

構内への設置 ●できる（施設管理者と協議） ・できない

25. 工事用電力、水、その他

(1) 本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。  
(2) 本工事で新規受電または既設電回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

26. 工事中等の保安監理

電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気安全管理等にかかる費用は本工事に含まれる。

27. 搬入計画

大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法（扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、養生方法、運送車両、荷重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。

28. 製品確認

発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。

29. 機材等の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。

30. 完成確認及び完成検査時等の電源確保

機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。

31. 完成時の操作説明

総合監等操作に必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。

32. 不正軽油の使用の禁止

(1) 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。  
(2) 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。  
(3) 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33. 下請次数制限及び県内（管内）企業優先使用

(1) 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。  
なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。  
(2) 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。  
なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

34. 総合評価方式

総合評価方式の工事において、技術提案の不履行があった場合は、本工事の完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の技術評価点（満点）の1割を減点する。また、同一年度に複数工事で不履行があった場合は不履行工事件数に応じて、発注工事の技術評価点（満点）を減点する。

35. 不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について  
(1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。  
(2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。

(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

36. 電子メールの活用

「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和3年11月」を適用する。  
（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）

37. 主任技術者又は監理技術者

(1) 技術者要件  
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者とななければならない。  
(2) 専任を要しない期間  
1) 現場施工に着手するまでの期間  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。  
2) 検査終了後の期間  
工事完成後検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後片付け等ののみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

38. 工事の一時中止

工事の一時中止の取り扱いについては「三重県工事一時中止に係るガイドライン」（平成29年7月三重県県土整備部）による。  
三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する基本計画書を発注者に提出し、協議する。  
工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

39. 社会保険等未加入対策

(1) 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。  
(2) 受注者は、施工体制台帳・再下請通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

40. 現場での安全確保（自主施工の原則）

(1) 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。  
(2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

41. 設計図書の照査

三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。  
なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

Ⅳ. 施工仕様

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 既設設備等の調査

既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。

(1) 地中埋設管路

1) 項目

●埋設配管 ●構造物 ・その他（ ）

2) 調査範囲

●埋設ルート ・その他（ ）

(2) 貫通及びはつり

1) 項目

●鉄筋 ●配管 ・その他（ ）

2) 調査範囲

●施工部分 ・その他（ ）

(3) 既設との取合い

1) 項目

●接続箇所 ●増設箇所 ・その他（ ）

2) 調査範囲

●施工部分 ・その他（ ）

2. 施工前の測定等

改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。

3. 耐震基準

耐震措置の計算及び施工方法は、次の基準を適用する。  
(1) 「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」（国土交通省大臣官房官庁営繕部）  
(2) 「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（一財）日本建築センター

4. 耐震基準

(1) 想定される地震に設備を対応させる。  
(2) 耐震計算書を監督員に提出する。

5. はつり

(1) 穴開け及び補修 ・なし ●あり（貫通場所及び口径は別図による）  
(2) 溝はつり及び補修 ・なし ●あり（はつり深さは別図による）

6. あと施工アンカー

性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ●行わない

7. 基礎の配線ビット

基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。

8. 配管・配線の耐震処置

建物引込部の配管の耐震処置 ・行う ●行わない  
建物のエクスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ●行わない

9. 最上階の埋込配管

最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。

10. 露出配管

(1) 雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。  
(2) 附属品は、ねじ込み形を使用する。  
(3) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分（2m以下）の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。  
(4) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。  
(5) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。

11. 合成樹脂管

(1) 合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。  
(2) 原則として屋外の露出には使用しない。（P F管）

特記事項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第2801-0077MT号）

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
<div><div>MAINO</div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div></div>		第320204号	第378328号	第360917号	第307846号	第307846号			南福岡市民館長寿命化改修工事	R6/3/25
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		前野 将輝	加藤 早紀	前田 祐作	三橋 五百子				図面番号	図面番号
									電気設備工事 特記仕様書 1	E01
									縮尺 A1: NS A3: NS	



16. 拡声設備	・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ・スピーカ ・その他（ ） ・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照） ・専用 出力（ ）W 出力インピーダンス ・Lo形 ●Hi形
（3）付属機器	・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器 ・録音再生装置（・CD ・メモリオディオ ・その他（ ）） ・アナウンスレコーダー（・チャーム ・独自メッセージ ・プログラムタイマー ・その他（ ）） ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（・電波式（・アナログ ・デジタル） ・赤外線式） ・ラジオチューナー（・FM ・AM ・その他（ ）） ・スピーカ切替装置 ・その他の機器（ ） ・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他（ ） ・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照） ・専用 結線 ●1W ・3W ・（ ）W インピーダンス ・Lo形 ●Hi形 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ）
17. 誘導支援設備	（1）設備 （2）音声誘導装置 ・音声誘導装置 ●インターホン ●トイレ等呼出装置 1）検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他（ ） 2）設置場所 ・屋外（防雨形） ・屋内 3）機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他（ ） 4）機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他（ ） 5）制御装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他（ ） 6）送信機 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他（ ） 7）受信機 ・スピーカ式 ・イヤホン式 ・その他（ ） （3）インターホン 1）用途 ・内部受付用 ●外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用 ・その他（ ） 2）機能 ●音声通話 ・映像モニタ 3）通話網 ●親子式 ・相互式 ・複合式 4）通話方式 ・同時通話式 ・交互通話式 ・その他（ ） 5）機器 ・親機 ・子機 ・その他（ ） 6）親機 ①形状 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他（ ） ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他（ ） 7）子機 ①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他（ ） ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他（ ） 1）用途 ●トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他（ ） 2）機器 ●親機 ●呼出スイッチ ・警報装置 ・その他（ ） 3）親機 ●壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他（ ） 4）呼出スイッチ ●押ボタン式 ・引紐式 ・その他（ ） 5）警報装置 ・光 ・音声 ●ブザー ・ベル ・その他（ ）
18. テレビ共同受信設備	（1）受信放送 （2）機器 （3）アンテナ ・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他（ ） ・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・その他（ ） 1）放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他（ ） 2）マスト ・地上波用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用） ・衛星用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用） ・その他（ ） 3）自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）
19. 監視カメラ設備	・仕様詳細は別図による。
20. 駐車場管制設備	・仕様詳細は別図による。
21. 防犯・入退室管理設備	・仕様詳細は別図による。
22. 自動火災報知設備	（1）機器 ●受信機 ・副受信機（表示装置） ・中継器 ・発信機 ・感知器 ・光警報装置 ・その他（ ） （2）受信機 1）型式 ・P型1級 ●P型2級 ・R型 2）回線数 ・（ ）回線 3）試験機能 ●自動試験機能 ・遠隔試験機能 4）盤形式 ・複合盤組込 ・自立型 ●壁掛型 ・その他（ ） （3）副受信機（表示装置） 1）盤形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他（ ） 2）回線数 ・（ ）回線 3）表示装置の仕様詳細は別図による。 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 1）型式 ・アドレス付 ・P型1級 ●P型2級 2）消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表 面に「消火栓起動」等の文字を併記する。 3）設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス（別途）に組込 ・その他（ ） （6）感知器 1）型式 ・アドレス付 ●一般型 2）種類 ●熱感知器 ・空気管式 ●煙感知器 ・炎感知器 3）試験機能 ●自動試験機能 ・遠隔試験機能 4）機器仕様 ●一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他（ ） （7）光警報装置 1）機器 ・警報装置 ・制御装置 ・同期装置 2）警報装置 ・天井付 ・壁付 3）同期装置 ・自走同期式 ・外部同期式

23. 自動閉鎖設備	・連動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置 ・その他（ ） （2）連動制御器 1）制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー （ ） ・非常口等の扉 ・その他（ ） 2）回線数 （ ）回線（遠方復帰機構（ ）回路） 3）設置 ・単独（・壁掛形 ・自立形） ・火災受信機等との複合盤 1）型式 ・アドレス付 ・一般型 2）種類 煙感知器（・2種 ・3種） 3）試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4）機器仕様 ・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他（ ） 1）方式 ・電磁式 ・ラッチ式 ・その他（ ） 2）施工 ・本工事（・建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） （5）自動開錠装置 1）方式 ・電気錠 ・その他（ ） 2）施工 ・本工事（・建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）
24. 非常警報設備	（1）設備 （2）非常放送装置 ●非常放送装置 ・非常ベル 1）消防法基準適合マーク品とする。 2）機器 ・増幅器 ・スピーカ ・非常用リモコンマイク ・その他（ ） 3）増幅器 ①出力（ ）W ②出力インピーダンス ・Lo形 ●Hi形 ③形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他（ ） ④機能 ・マイク放送 ・連動放送（・自火報設備 ・緊急地震速報設備） ・その他（ ） ⑤用途 ●拡声設備兼用 ・非常放送専用 4）スピーカ ①結線 ●1W ・3W ・（ ）W ②インピーダンス ・Lo形 ●Hi形 ③設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） ④用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 5）非常用リモコンマイク 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他（ ） 1）機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他（ ） 2）設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス（別途）に組込 ・その他（ ）
25. ガス漏れ火災警報設備	（1）機器 ・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器 ・その他（ ） 1）回線数 （ ）回線 2）種類 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用 3）設置 ・単独（・壁掛形 ・自立形） ・火災受信機等との複合盤 ・その他（ ） 設置 ・単独（・壁掛形 ・自立形） ・火災受信機等との複合盤 ・その他（ ） 1）動作 ・単独（単独動作） ・連動（受信機に伝送） 2）定格電圧 ・AC100V ・DC24V（受信機等から供給） ・その他（ ） 3）ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式
【中央監視制御設備】	・仕様詳細は別紙による。
【医療関係設備】	・仕様詳細は別紙による。
【構内配電線路】	26. 構内配電線路 （1）配線方式 ・地中線式（・直埋 ・管路） ・架空線式（・直接 ・ちょう架線添架） ・建築物等添架式（・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他（ ）） ・その他（ ） （2）建柱 1）施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他（ ） 2）電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他（ ） 3）支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線（保護ガード ・有 ・無） 4）装柱材料 ・有 ・無 5）銘板 ・有 ・無 1）機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他（ ） 2）耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3）開閉器 仕様は 5. 受変電設備（6）負荷開閉器 による。 1）機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他（ ） 2）耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 1）形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2）施工 ・本工事（・建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3）ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・（ ）箇所 4）重車両の通行 ・有（破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1（走行速度制限箇所）） ・無 1）鉄鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2）雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。 1）種類 ・FEP ・GLT（PEライニング管） ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他（ ） 2）標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製（アスファルト部分） 3）埋設標識シート ・2倍長 ・その他（ ） 4）埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
（6）鉄鉄蓋	
（7）地中ケーブル保護材料	

【構内通信線路】	
27. 構内通信線路	（1）用途 ・電話 ・拡声 ・時刻表示 ・火災報知 ・非常警報 ・インターホン ・テレビ共同受信 ・防犯 ・制御 ・その他（ ） ・地中線式（・直埋 ・管路） ・架空線式（・直接 ・ちょう架線添架） ・建築物等添架式（・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他（ ）） ・その他（ ） （3）建柱 1）施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他（ ） 2）電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他（ ） 3）支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線（保護ガード ・有 ・無） 4）装柱材料 ・有 ・無 5）銘板 ・有 ・無 1）形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2）施工 ・本工事（・建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3）ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・（ ）箇所 4）重車両の通行 ・有（破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1（走行速度制限箇所）） ・無 1）鉄鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2）雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。 1）種類 ・FEP ・GLT（PEライニング管） ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他（ ） 2）標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製（アスファルト部分） 3）埋設標識シート ・2倍長 ・その他（ ） 4）埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
（5）鉄鉄蓋	
（6）地中ケーブル保護材料	
【その他】	
28. 消火器	1）設置 ・本工事（・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事） ・別途工事 2）消火器 種類（ ）、数量（ ）本 3）消火器収納箱 材質（ ）、数量（ ）面
VI. 使用資機材の通用規格	（1）以下に定めるとりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本工業規格（JIS規格）適合品の使用を原則とする。 ● 電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品 ・電気用品安全法適合品 ● 耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル ・消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの ・第三者認証機関として（一社）日本電線工業会規格（JCS規格）への適合性検査を行い合格したもの ● 非常用照明器具 ・建築基準法に定める国土交通大臣認定品 ・（一社）日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの ● 誘導灯 ・登録認定機関（（一社）日本電気協会（JEA誘導灯認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 制御盤 ・（一社）日本配電制御システム工業会規格（JSIA規格）適合品 ● 消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品 ・登録認定機関（（一財）日本消防設備安全センター（消防用設備等認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品 ・（一財）日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの ● 金属閉鎖形スイッチギア ・（一社）日本電機工業会規格（JEM規格）適合品 ● 高圧機器（遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器） ・（一社）電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品 ● 直流電源装置（防災電源用） ・登録認定機関（（一社）日本電気協会（JEA蓄電池設備認定委員会））の認定をうけ、認定証票が貼付されたもの ● 交流無停電電源装置 ・（一社）電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品 ● 自家発電装置（防災電源用） ・登録認定機関（（一社）日本内燃力発電設備協会）の認定を受け、認定証票（長時間形）が貼付されたもの ● 自家発電装置（防災電源用でないもの） ・（一社）日本電機工業会規格（JEM規格）適合品 ● 太陽電池モジュールの支持物 ・電気設備の技術基準の解釈第4条第2項又は第3項の規定に適合するもの ● 電話用設備（電話交換機、電話機等） ・登録認定機関（（一財）電気通信端末機器審査協会（JATE）等）の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの ● 非常用放送設備 ・登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● テレビ共同受信機器 ・優良住宅部品（BL部品）の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの ・（一社）電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの ● 自動火災報知装置 ・登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの （2）特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。

Ⅶ. 使用資機材の製造者	（1）以下に掲げる資機材については、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（電気設備機材・機械設備機材）（（一社）公共建築協会 発行）」（以下「評価名簿」という）に記載されている製造者の製品を使用すること。 なお、納入地区に中部地区が含まれ、評価の有効期間内であるものとする。 ● L E D照明器具（一般屋内用に限る） ● 照明制御装置 ● サーン防護デバイス（SPD） ● 可変速運転用インバータ装置 ● 盤類 ● 高圧機器 ● 絶縁監視装置 ● 蓄電池 ● 交流無停電電源装置 ● 太陽光発電装置 ● 監視カメラ装置 ● 中央監視制御装置 （2）評価名簿に記載されていない製造者の製品を使用する場合は、評価名簿の評価基準と同等の条件を満足することを証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。		
Ⅶ. 完成時の提出図書	Ⅶ. 完成時の提出図書		
	名 称	完成書類	部数
	完成図（原図サイズ）	竣工図（製本）	1部
		施工図（製本）	1部
	完成図（原図サイズA4折り）	ファイル綴	1部
	完成図（A3縮小二つ折り）	竣工図（製本）	2部
		施工図（製本）	2部
	保全に関する資料 制御システム図 システム系統図 資機材一覧表 機器完成図 取扱説明書 試験結果報告書 工場試験成績書 各種計算・検討書 予備品・付属品一覧表 機器銘板の写し 検査済証 保証書 メンテナンス要領書 メンテナンス参考業者一覧表 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類の写し（表紙のみ） その他監督員の指示するもの *各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。	ファイル綴	1部
	工事に関する書類 工事カルテ受領書の写し 施工計画書 施工要領書 部分下請負通知書及び下請負契約書の写し 施工体制台帳及び施工体系図 工事進捗状況報告書 各種計画書及び報告書 排出ガス対策型建設機械使用報告書 工事打合簿 段階確認書 工事事故報告書 安全管理関係書類 使用機材届出書 工事材料搬入報告書 機器明細図 機材の品質及び性能証明書 各種計算・検討書 工場試験成績書 試験結果報告書 計測機器類の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 産業廃棄物処理集計表 現場発生品調査 再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書 再資源化等完了報告書（特定建設資材廃棄物） 工事写真（サムネール及び代表写真） 検査立会者名簿 その他監督員の指示するもの *各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。	ファイル綴	1部
	官公庁手続き書類 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類（本冊）		
	電子納品		3部
	工事目的物引渡書 引渡目録		3部
注	・完成図はC A Dにより作成すること。 ・完成図の作図範囲は設計図面と同程度とする。 ・改修工事等は既存の完成図を修正すること。 ・白焼き（青焼き不可）で文字潰れないこと。 ・表紙（可能な範囲で背表紙にもの）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印字（シール不可）すること。 ・保全に関する資料は、国土交通省「建築物等の利用に課する説明書作成の手引き（本編）」及び「同（防災編）」を参照すること。 ・上記表は標準の部数であり、詳細については監督員の指示による。 ・その他監督員の指示する書類を作成して提出すること。 ・ファイルはチューブファイル以上とする。 ・完成書類の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲する。 ・作成しがたい場合は、監督員との協議による。		

特 意見聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）

記	
事	
項	



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者  
一級建築士  
第320204号  
前野 将輝

設計担当  
一級建築士  
第378328号  
加藤 早紀

設計担当  
一級建築士  
第360917号  
前田 祐作

設計担当  
一級建築士  
第307846号  
三橋 五百子

設計担当

法適合確認

作図

水谷

校図

工 事 名 称

南福崎公民館長寿命化改修工事

図 面 名 称

電気設備工事 特記仕様書 3

設計日

R6/3/25

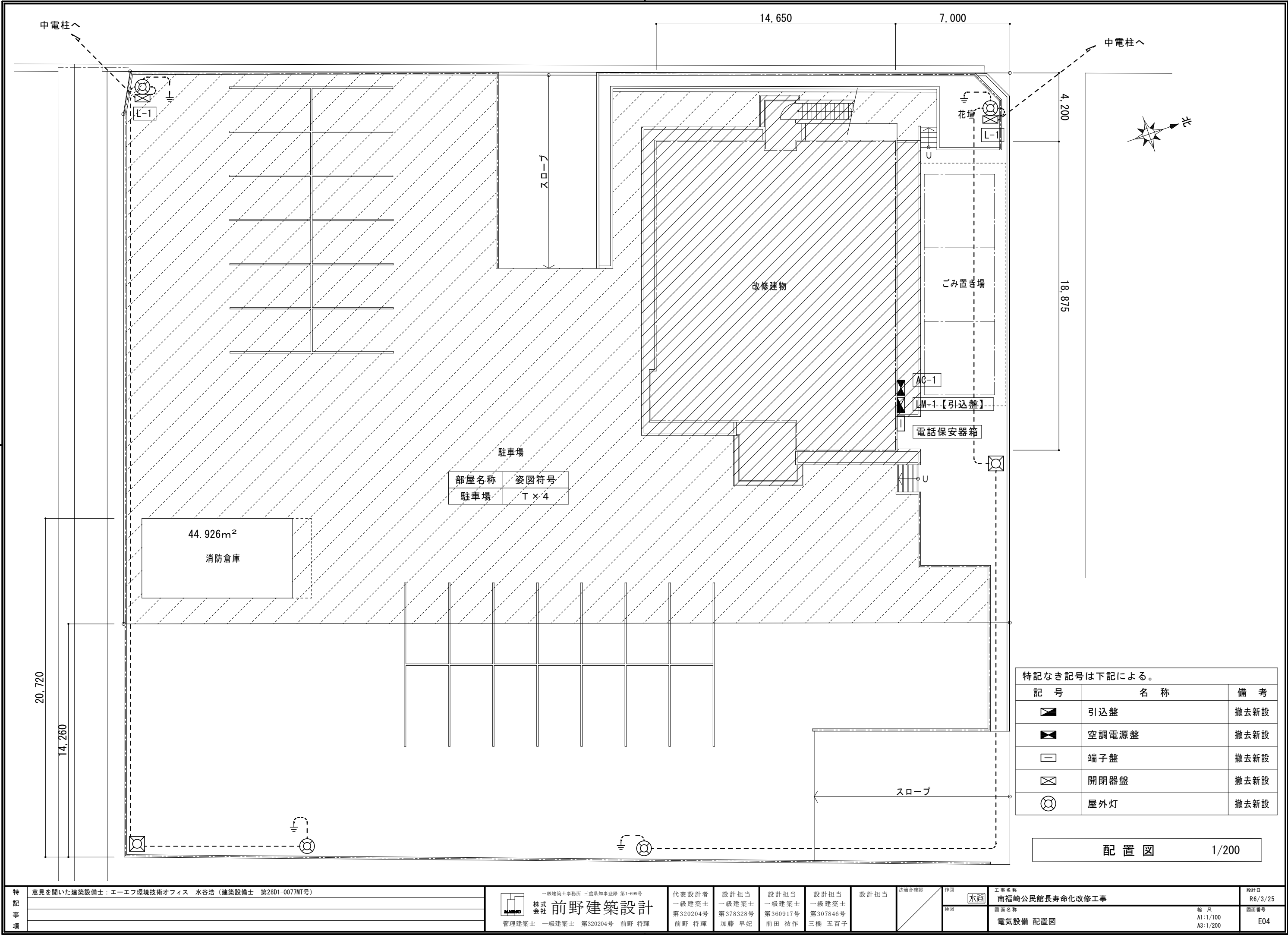
縮 尺

A1: NS

A3: NS

図面番号

E03



部屋名称	姿図符号
駐車場	T × 4

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
⬢	引込盤	撤去新設
⬢	空調電源盤	撤去新設
□	端子盤	撤去新設
⊠	開閉器盤	撤去新設
⊙	屋外灯	撤去新設

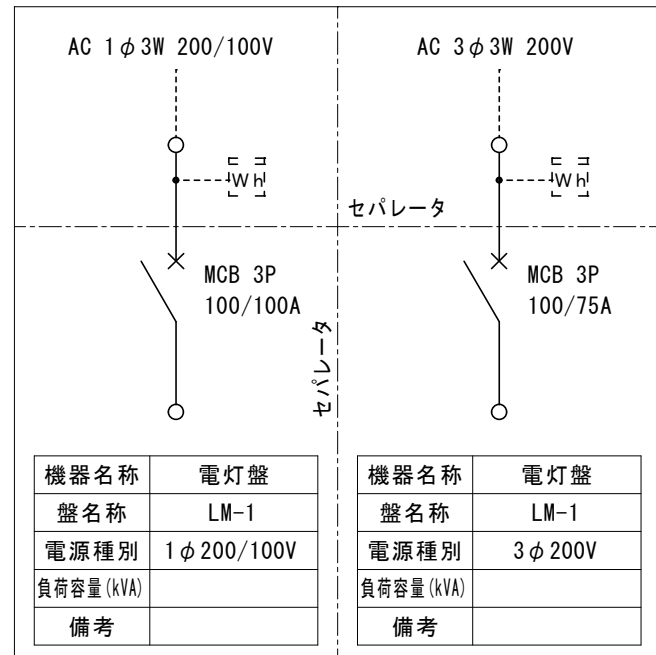
配置図 1/200

※全て新設

LM-1

### 引込開閉器盤仕様

屋外用露出形（壁掛）  
ステンレス製（扉付）  
指定色塗装  
その他製作所標準品



※全て新設

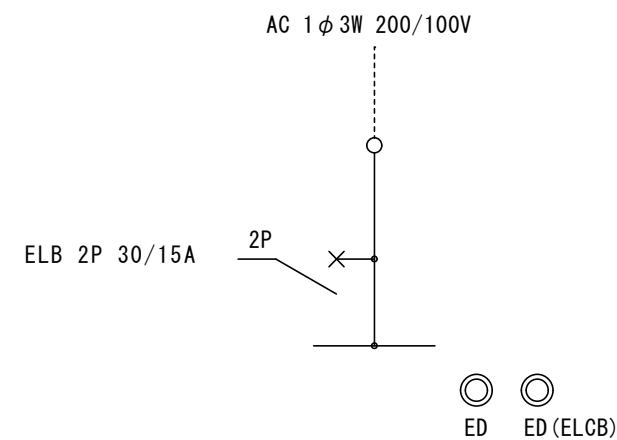
---

L-1

2面

開閉器盤仕様

屋外用露出形（壁掛）  
ステンレス製（扉付）  
指定色塗装  
その他製作所標準品



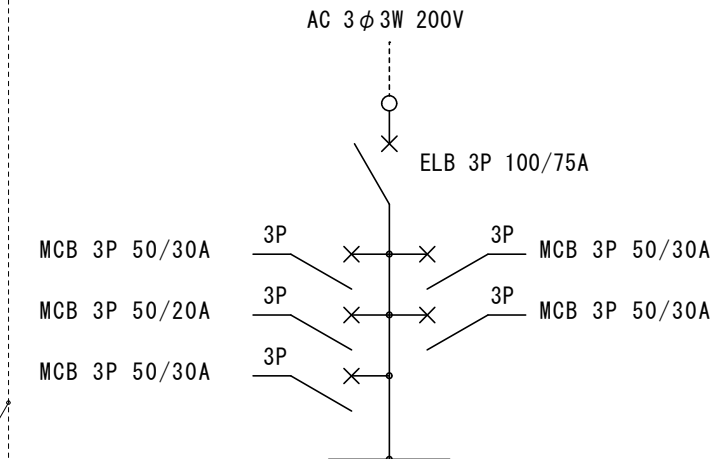
※内部のみ更新【既設写真参照】

LM-2

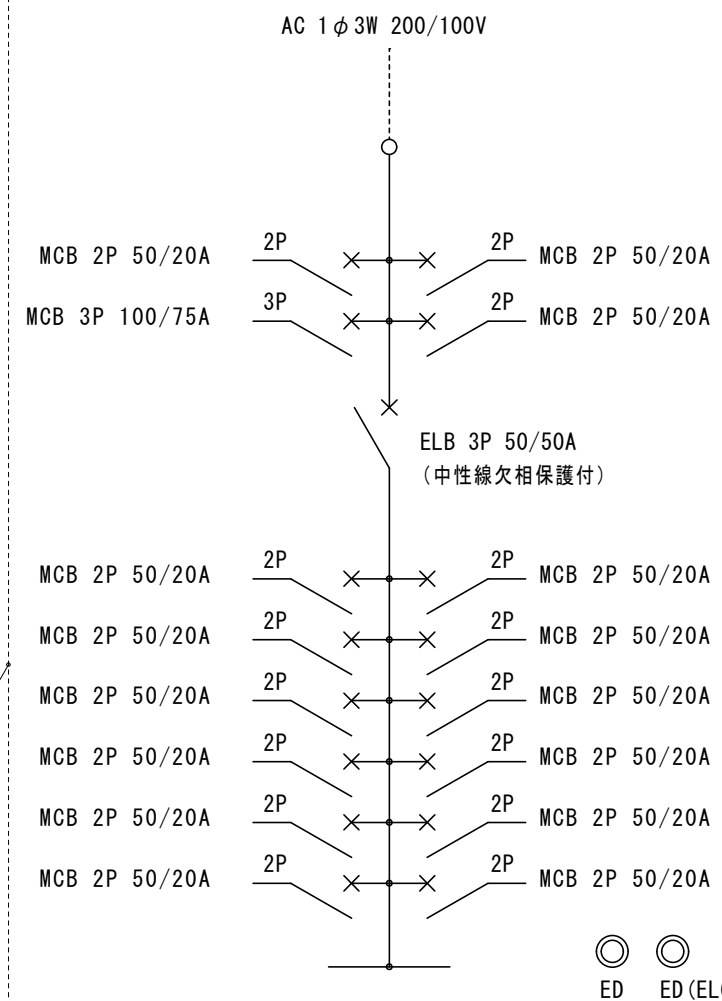
分電盤仕様

屋内用露出形（埋込）  
鋼板ア 1. 6（扉付）  
指定色塗装  
その他製作所標準品



※埋込部は既設のままで、内扉及びブレーカ類を更新とする



内扉：W360×H500更新

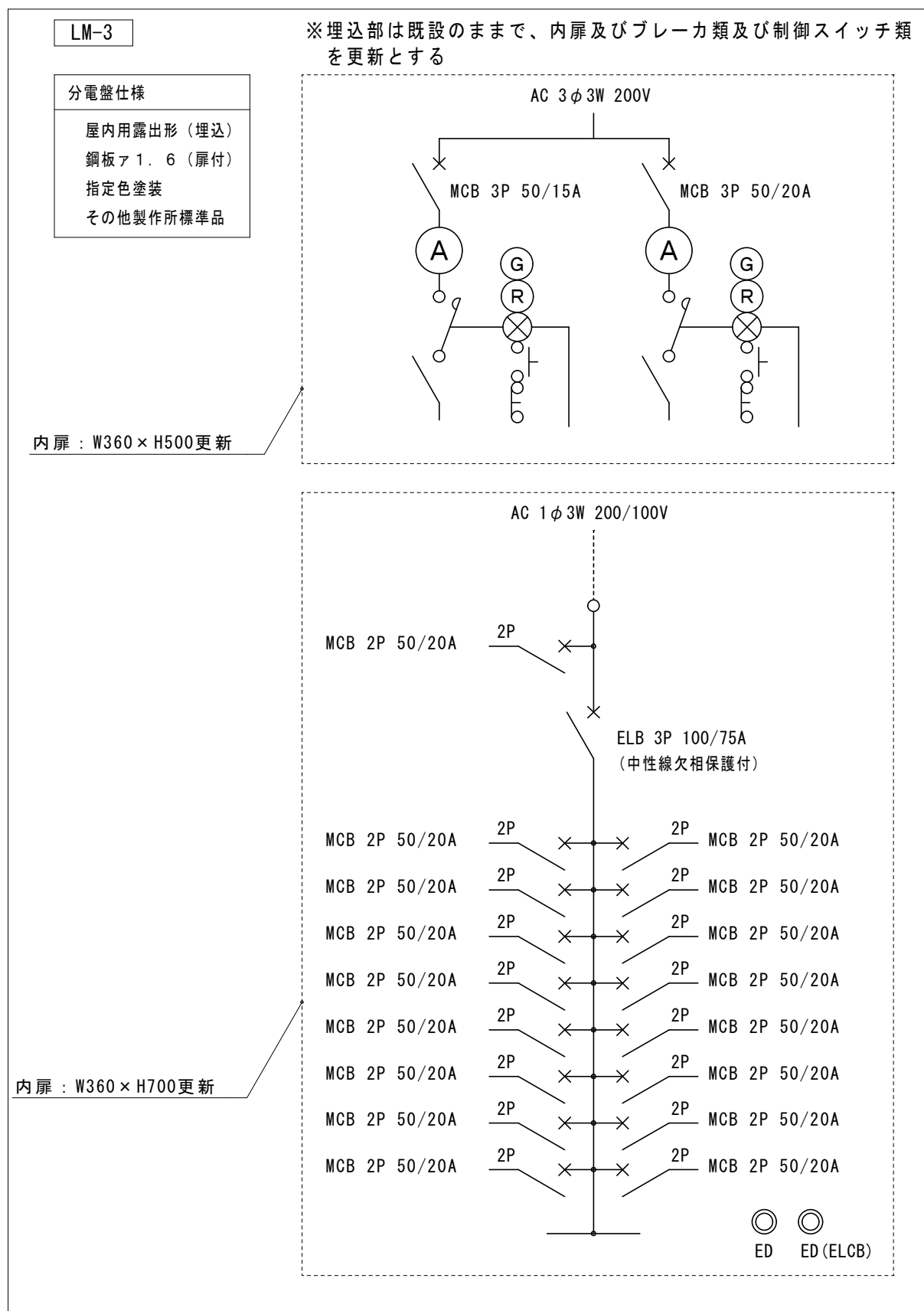


内扉：W360×H700更新

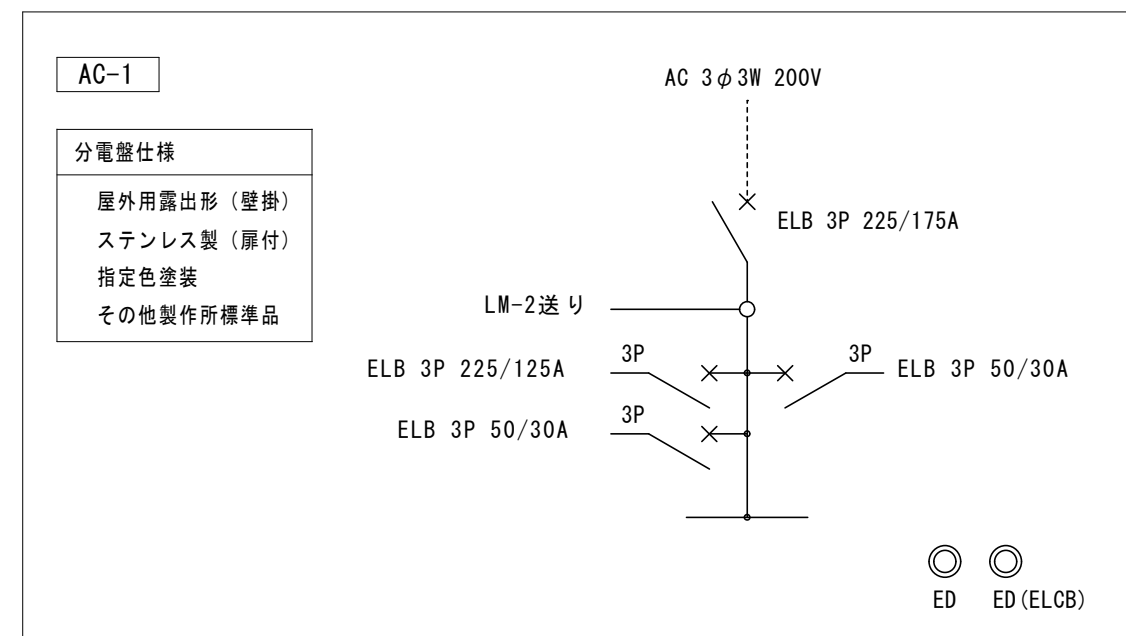
特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）				<div></div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div> <div>株式会社 前野建築設計</div> <div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当	法適合確認	<div></div> 作図 南福崎公民館長寿命化改修工事	工事名称 南福崎公民館長寿命化改修工事	設計日 R6/3/25
											縮 尺 A1: NS A3: NS	図面番号 E05		



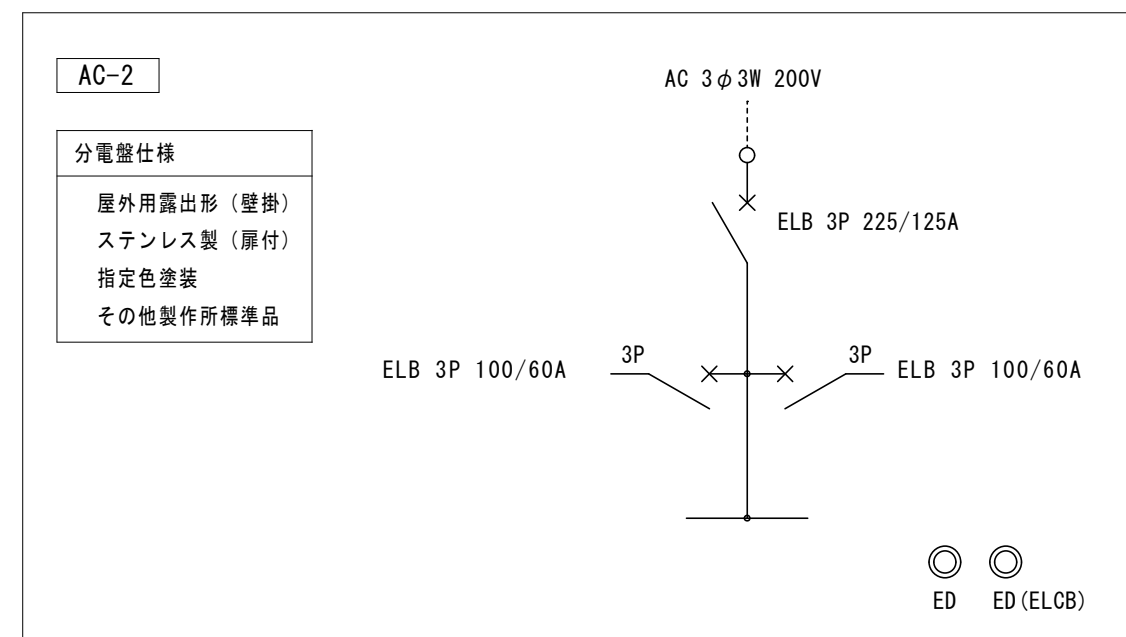
※内部のみ更新（外扉の制御スイッチ、計器類も更新）  
【既設写真参照】



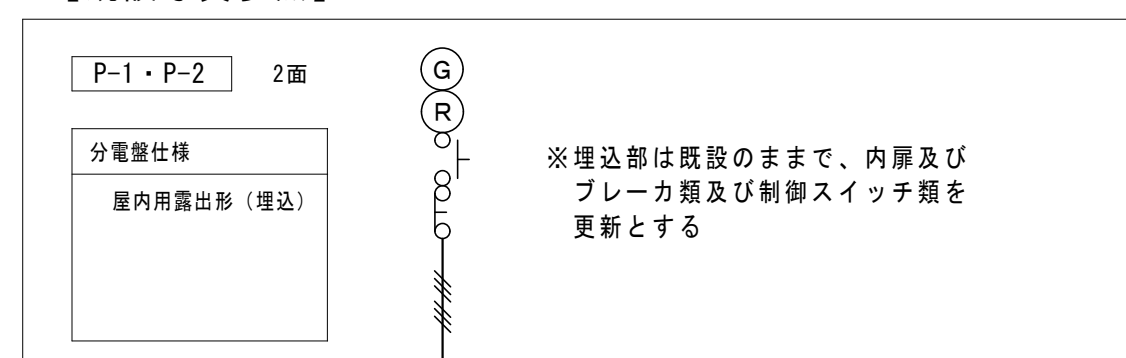
※全て新設



※全て新設



※内部のみ更新（外扉の制御スイッチ類も更新）  
【既設写真参照】



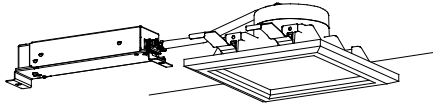
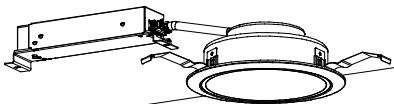
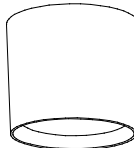
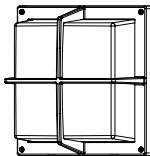
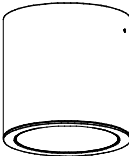
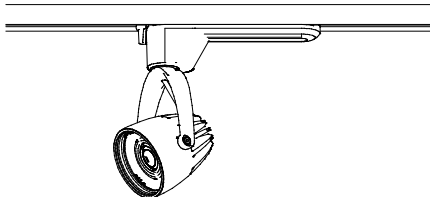
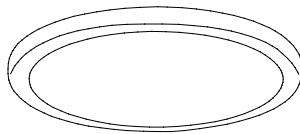
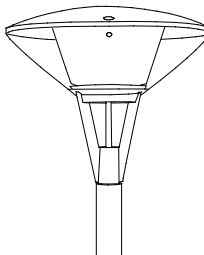
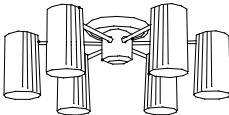
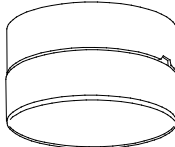
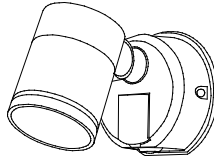
器具参考姿図

【注記】公共型番以外の物は、明記品番相当品とする。

A	i Dシリーズ直付型 4 0 形    Dスタイル    W 2 3 0	B	i Dシリーズ直付型 2 0 形    Dスタイル    W 2 3 0	C	i Dシリーズ直付型 2 0 形    Dスタイル    W 1 5 0	D	i Dシリーズ非常灯    2 0 形    Dスタイル    W 2 3 0    リモコン自己点検機能付
6900 lm		3200 lm		1600 lm		800 lm	
43.1W パナソニック    直付X L X 4 6 0 D E N P L E 9 LSS10-4-65		21.8W パナソニック    直付X L X 2 3 0 D E N C L E 9 LSS10-2-30		11.6W パナソニック    直付X L X 2 1 0 A E N C L E 9 LSS9-2-15		6.9W パナソニック    直付X L G 2 0 1 D G N K L E 9	
E	i Dシリーズ直付型 4 0 形    i スタイル	F	i Dシリーズ埋込型 4 0 形    フリーコンフォート    W 1 5 0	G	i Dシリーズ直付形 4 0 形    Dスタイル    防湿型・防雨型    W 2 3 0	H	i Dシリーズ埋込型 4 0 形    下面開放型    W 3 0 0    単体
3200 lm		3200 lm		6900 lm		6900 lm	
20.6W パナソニック    直付X L X 4 3 0 N E N P L E 9 LSS1-4-30		20.6W パナソニック    埋込X L X 4 3 6 F E N T L E 9		43.1W パナソニック    直付X L W 4 6 2 D E N Z L E 9		43.1W パナソニック    埋込X L X 4 6 9 V E N L E 9 LRS20-4-65	
I	L E D丸型ベースライト    F H D 8 5 形×2 灯器具相当	J	シーリングライト	K	L E D高演色ミラーライト    W 6 2 0	L	L E Dキッチンライト    2 0 形直管蛍光灯 1 灯器具相当
7560 lm		5260 lm		1350 lm		980 lm	
67W パナソニック    N N F 8 2 6 0 0 C L T 9		41W パナソニック    L G C 6 5 8 2 0		11.7W パナソニック    N N N 1 3 5 1 0 L E 1		12W パナソニック    L G B 5 2 0 9 4 L E 1	

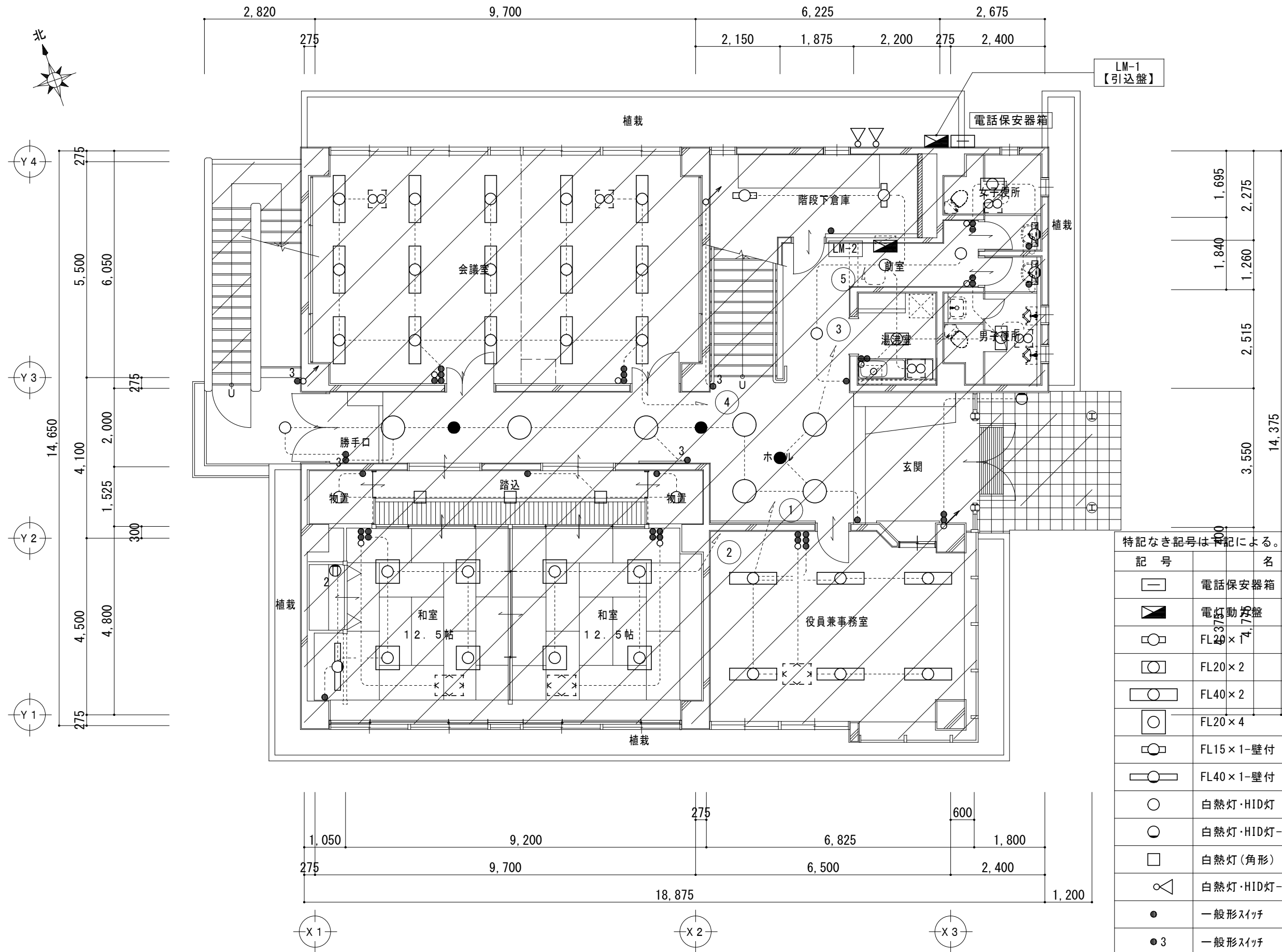
## 器具参考姿図

【注記】公共型番以外の物は、明記品番相当品とする。












M	和風角型ダウンライト 60形	N	ダウンライト 100形	O	LEDダウンシーリング 60形ダイクール電球1灯器具相当	P	ブラケット 60形電球1灯器具相当
575 lm		1045 lm		430 lm		455 lm	
							
4.2W パナソニック ダウンライトXND0690JLLE9		7W パナソニック ダウンライトXND1069WNLE9 LRS1-08		5W パナソニック ダウンシーリングXLGB3020CE1		7.7W パナソニック ブラケットXLGE8003CE1	
Q	小型シーリングライト	R	スポットライト100形	S	シーリングライト	T	LED街路灯エバーライト50形相当
1205 lm		840 lm		4899 lm		3300 lm	
							
8.8W パナソニック NCN14300WLE1		6.9W パナソニック NNN02081WLE1		36.3W パナソニック LGC41127K		31W パナソニック NNY22684LE9	
U	LEDシャンデリア 60形電球6灯器具相当	V	シーリングライト 100形電球1灯器具相当	W	LEDスポットライト 100形ダイクール電球1灯器具相当		
4557 lm		700 lm		710 lm			
							
44.4W パナソニック LGB57660K		7.7W パナソニック シーリングライトXLGE5013CE1		9.3W パナソニック LGWC47121CE1			

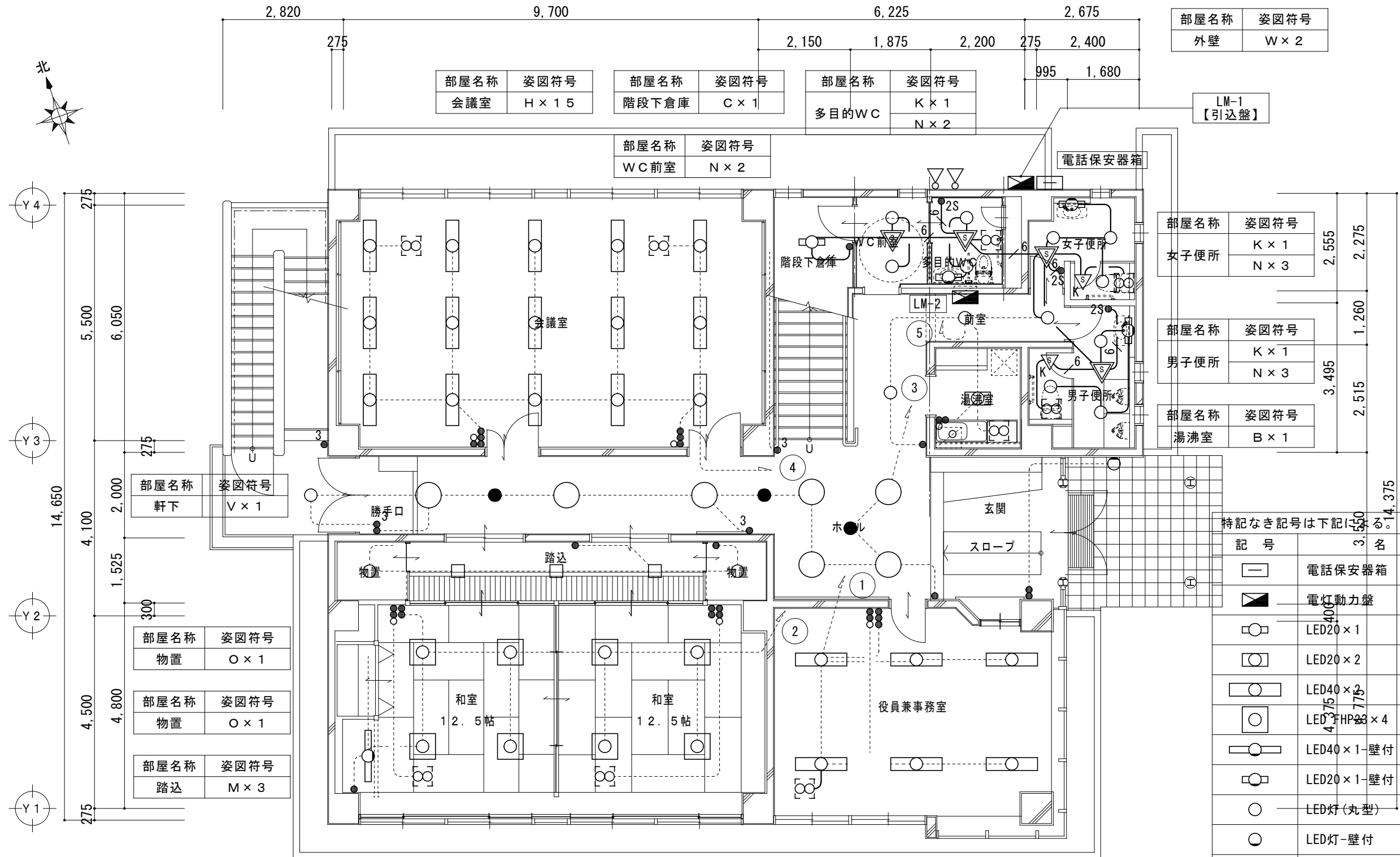
特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）				<div><div><div><div></div></div><div>株式会社</div></div><div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当	法適合確認	<div>作図</div> <div>校閲</div>	工事名称 南福崎公民館長寿命化改修工事		設計日 R6/3/25
	図面名称 改修後 照明器具姿図 2		縮 尺 A1: NS A3: NS	図面番号 E08											





1 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		名 称	備 考
	電話保安器箱		撤去
	電灯動弁盤		撤去
	FL20×1		撤去
	FL20×2		撤去
	FL40×2		撤去
	FL20×4		撤去
	FL15×1-壁付		撤去
	FL40×1-壁付		撤去
	白熱灯・HID灯		撤去
	白熱灯・HID灯-壁付		撤去
	白熱灯(角形)		撤去
	白熱灯・HID灯-スポットライト		撤去
	一般形スイッチ		撤去
	一般形スイッチ		撤去
	一般形スイッチ+確認表示灯		撤去
	換気扇-天井付		機械設備



部屋名称	姿図符号
外壁	W × 2

部屋名称	姿図符号
会議室	H × 15

部屋名称	姿図符号
階段下倉庫	C × 1

部屋名称	姿図符号
多目的WC	K × 1 N × 2

部屋名称	姿図符号
WC前室	N × 2

部屋名称	姿図符号
女子便所	K × 1 N × 3

部屋名称	姿図符号
男子便所	K × 1 N × 3

部屋名称	姿図符号
湯沸室	B × 1

部屋名称	姿図符号
前室	N × 2

部屋名称	姿図符号
ホール	Q × 1 I × 7

部屋名称	姿図符号
軒下	V × 1

部屋名称	姿図符号
物置	O × 1

部屋名称	姿図符号
物置	O × 1

部屋名称	姿図符号
踏込	M × 3

部屋名称	姿図符号
和室	E × 1 J × 8

部屋名称	姿図符号
役員兼事務室	A × 6

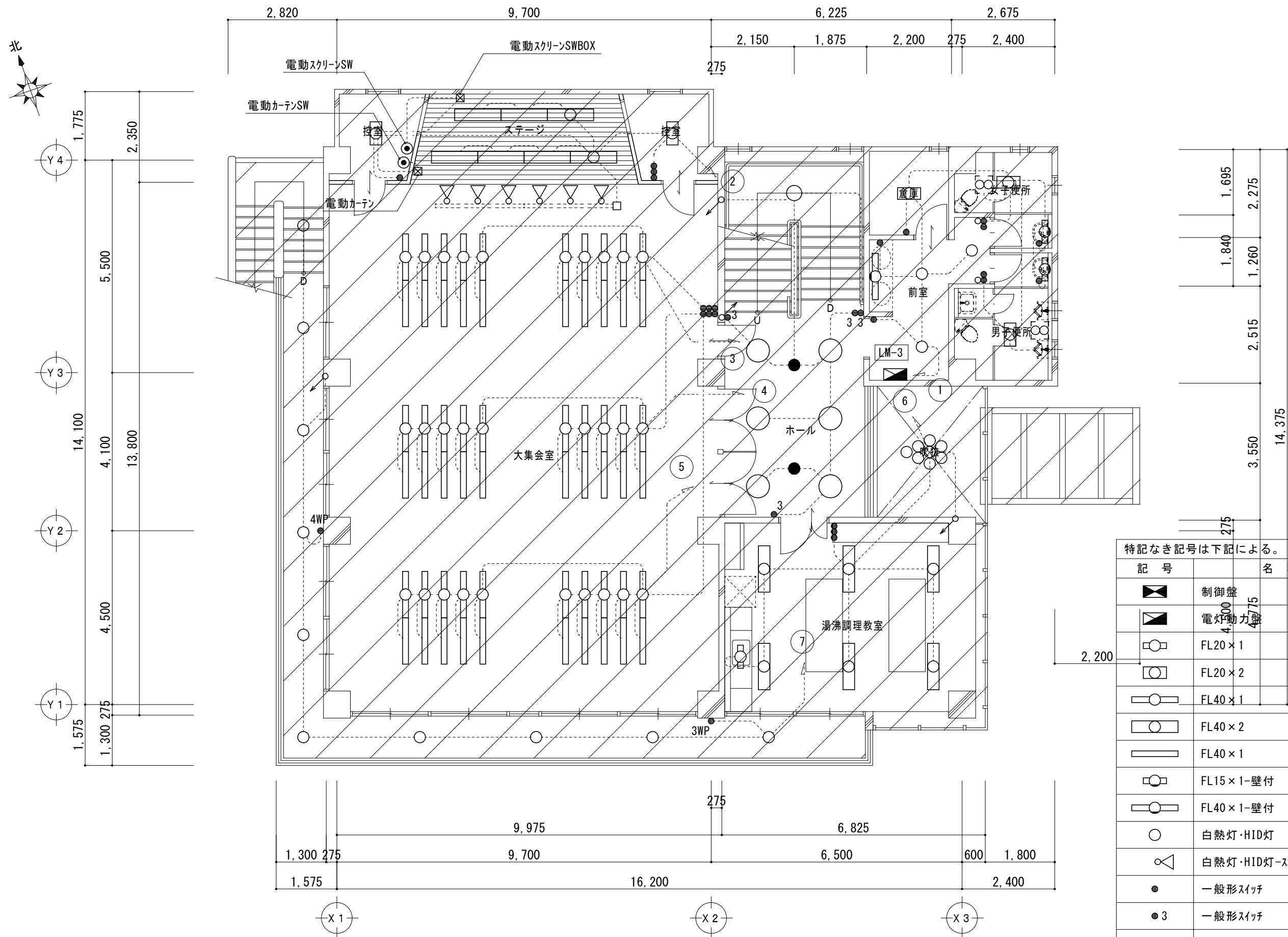
特記なき配線は下記による。	
	EM-EEF1.6-2C (PF16)
	EM-EEF1.6-3C (1C:E) (PF22)
	EM-EEF1.6-3C × 2 (PF28)

【注記】

- ・点線表記の配線は既設のままを示す。
- ・配線は天井裏ころがしとし、PS及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP F管にて保護する。
- （立下露出部は金属線ぴにて保護する）

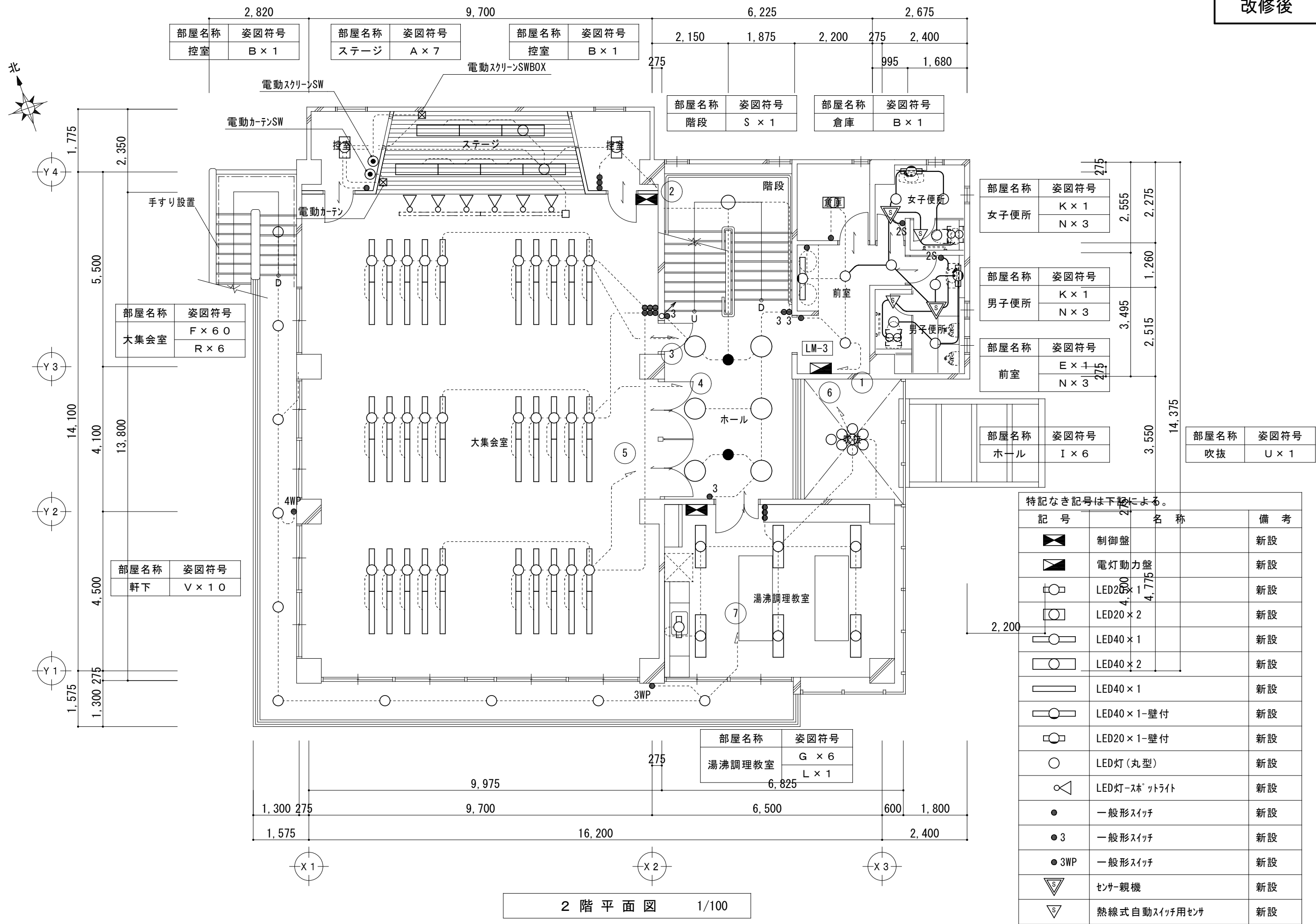
記号	名称	備考
	電話保安器箱	新設
	電灯動力盤	新設
	LED20 × 1	新設
	LED20 × 2	新設
	LED40 × 2	新設
	LED40 × 4	新設
	LED40 × 1-壁付	新設
	LED20 × 1-壁付	新設
	LED灯(丸型)	新設
	LED灯-壁付	新設
	LED灯(角形)	新設
	LED灯-スポットライト	新設
	一般形スイッチ 1P15A × 1	新設
	一般形スイッチ 3W15A × 1	新設
	一般形スイッチ+確認表示灯 1P15A × 1 PL × 1	新設
	熱線式自動スイッチ用センサ 親機	新設
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機(換気扇連動)	新設
	熱線式自動スイッチ用センサ 操作ユニット	新設
	換気扇-天井付	機械設備

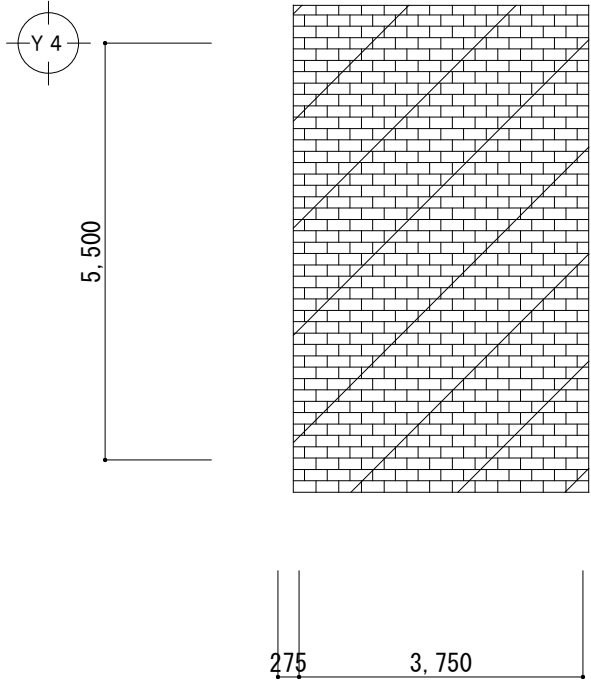
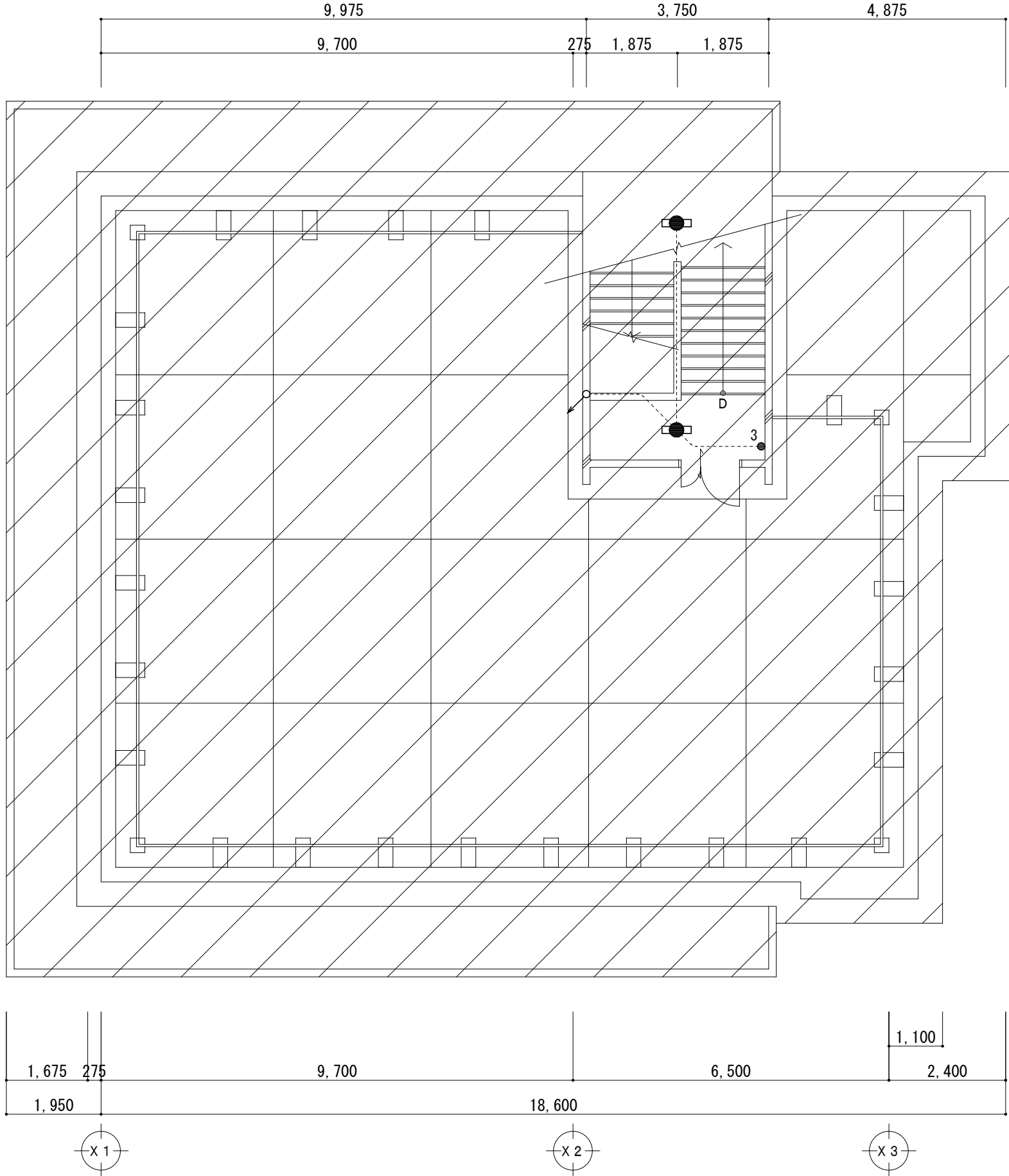
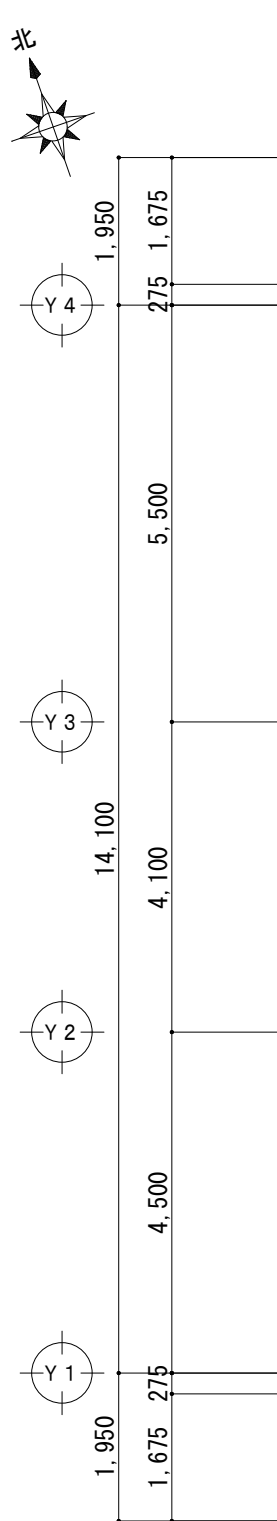
1 階 平 面 図 1/100



特記なき記号は下記による。			
記 号	名 称	備 考	
	制御盤	撤去	
	電灯動力盤	撤去	
	FL20×1	撤去	
	FL20×2	撤去	
	FL40×1	撤去	
	FL40×2	撤去	
	FL40×1	撤去	
	FL15×1-壁付	撤去	
	FL40×1-壁付	撤去	
	白熱灯・HID灯	撤去	
	白熱灯・HID灯-スポットライト	撤去	
	一般形スイッチ	撤去	
	一般形スイッチ	撤去	
	一般形スイッチ	撤去	
	一般形スイッチ+確認表示灯	撤去	

2 階 平 面 図 1/100

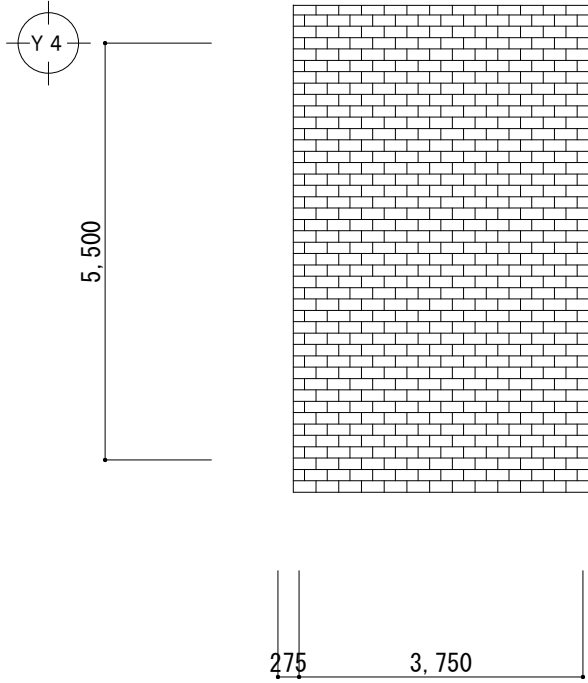
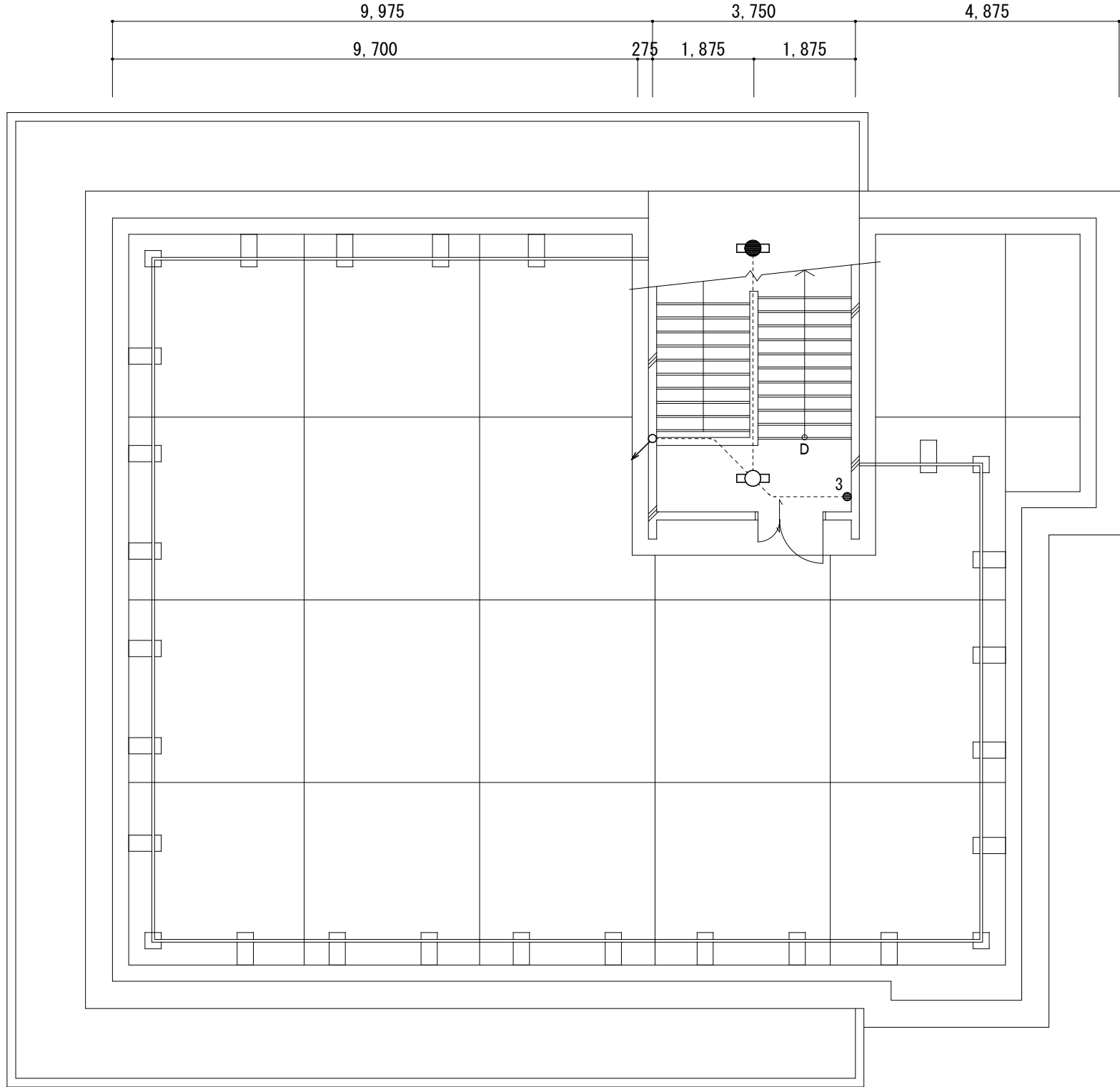
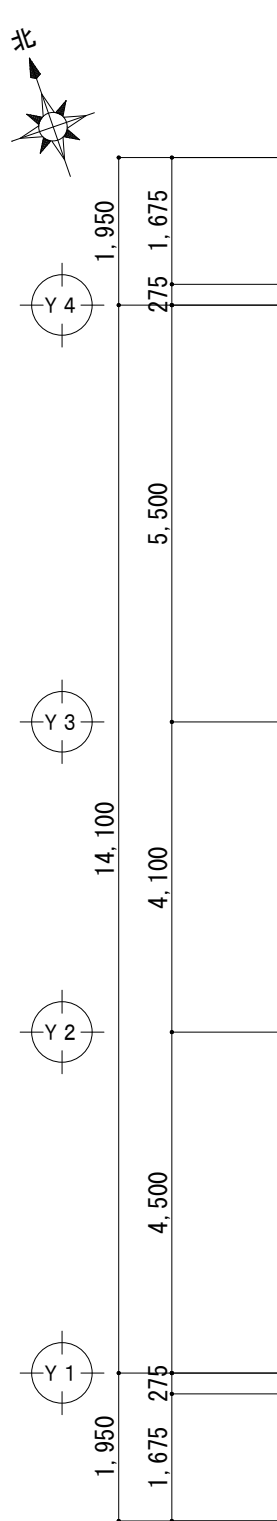




屋根伏図 1/100

R階平面図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	FL20×1	撤去
● 3	一般形スイッチ	撤去

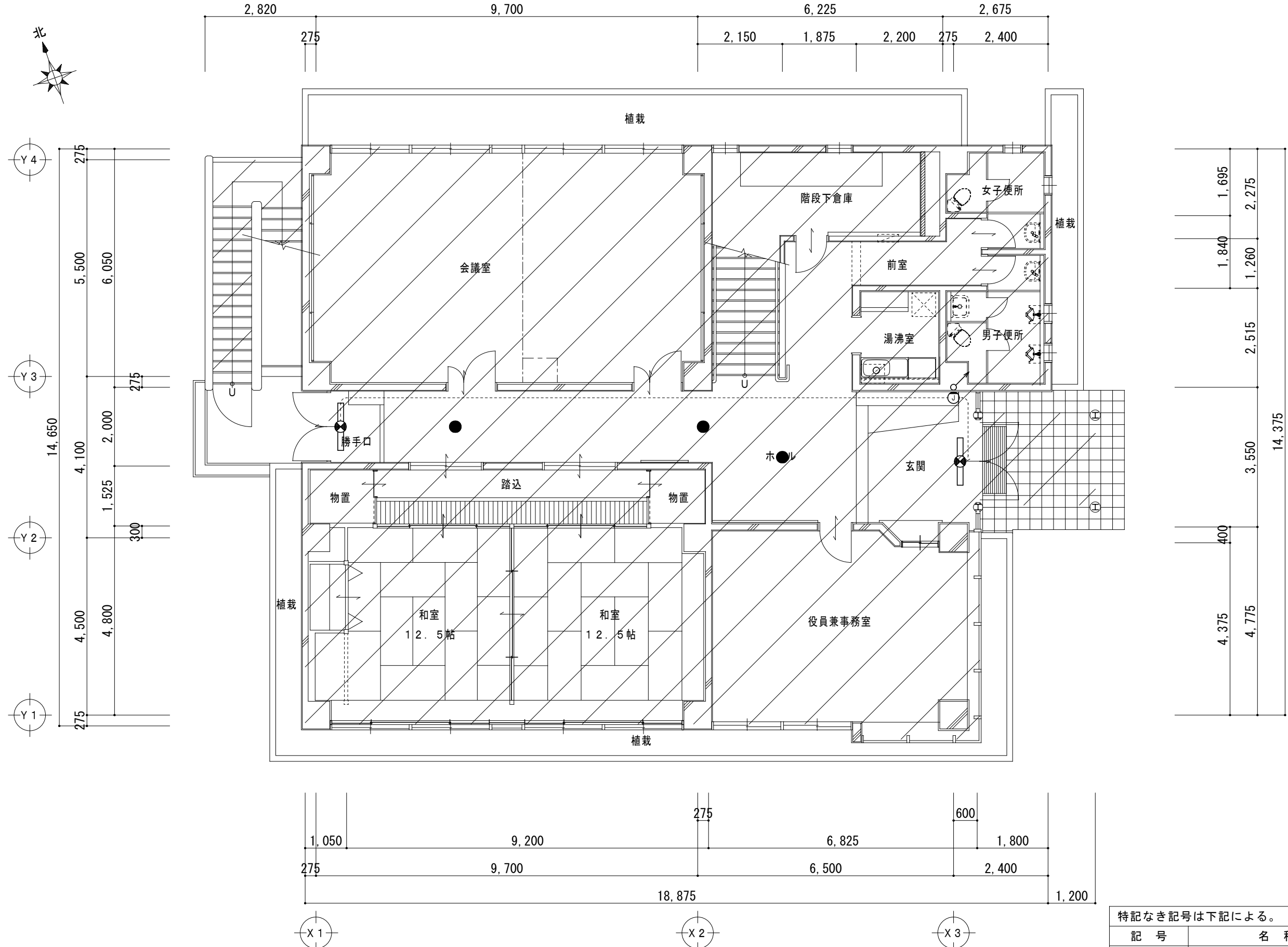


屋根伏図 1/100



R階平面図 1/100

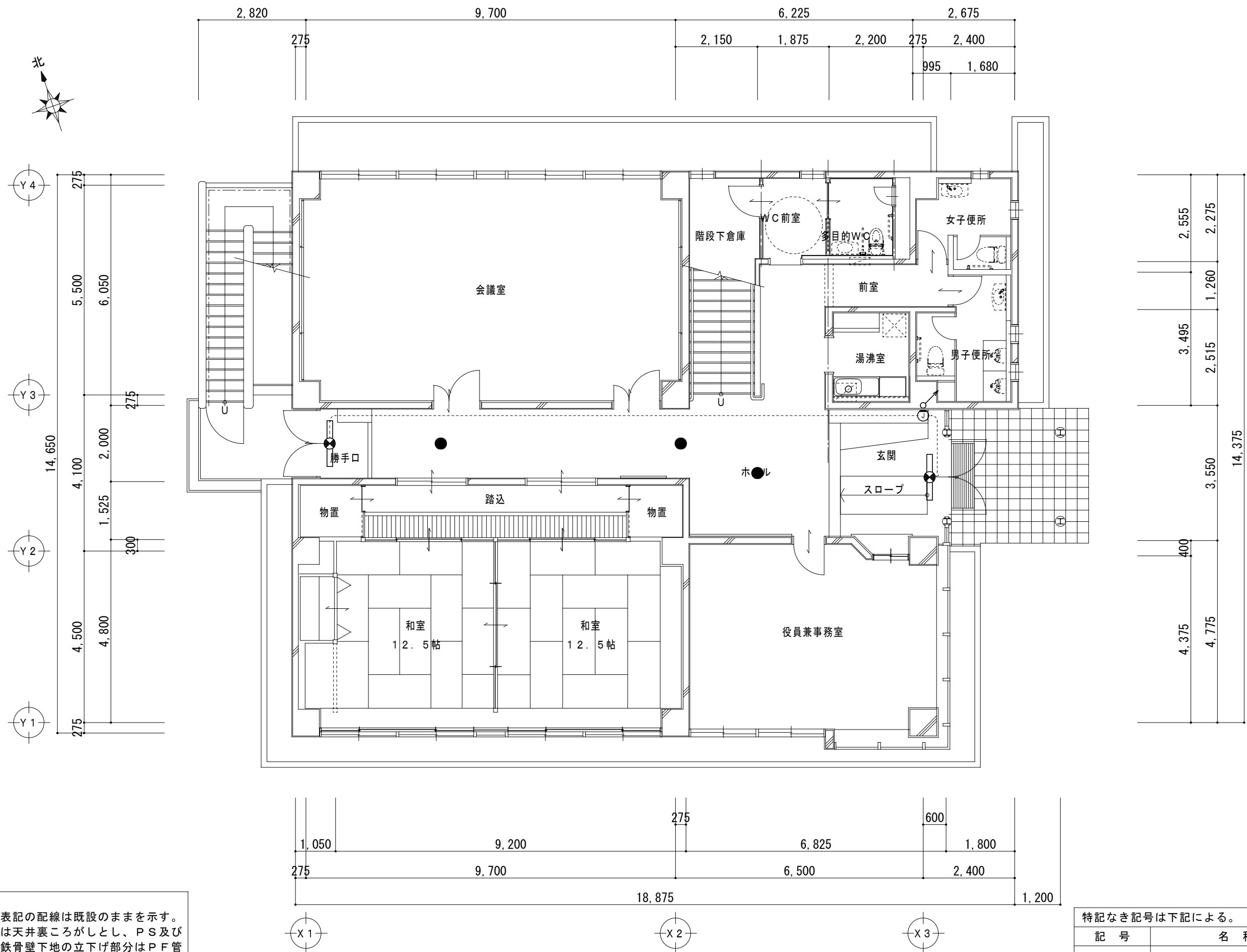
特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	LED20 × 1	新設
	一般形スイッチ	新設





1 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	FL40×1(壁付)	撤去
	白熱灯-非常用照明	撤去

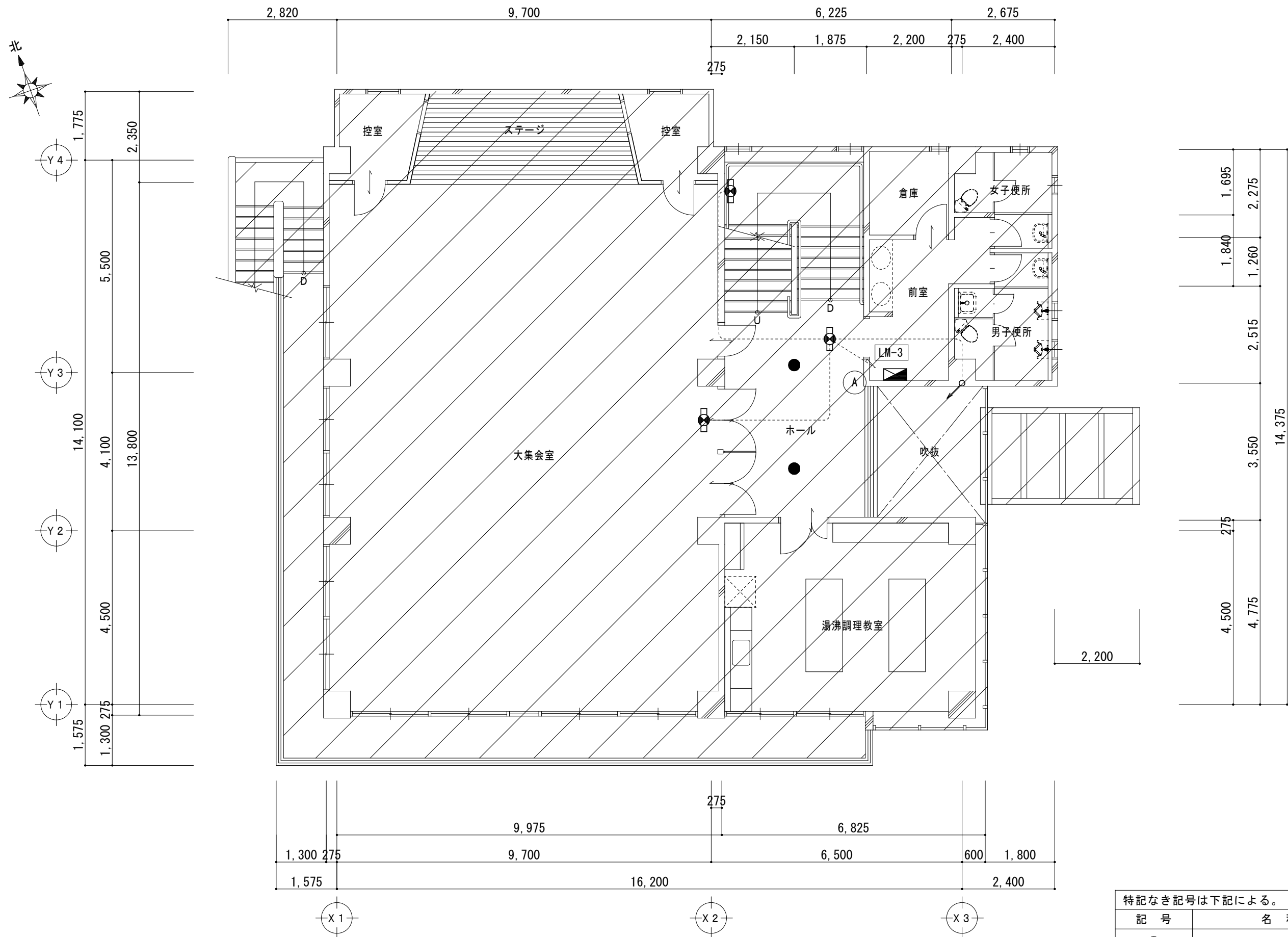


【注記】

- ・点線表記の配線は既設のまます。
- ・配線は天井裏ころがしとし、P S 及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP F 管にて保護する。
- (立下露出部は金属線ぴにて保護する)

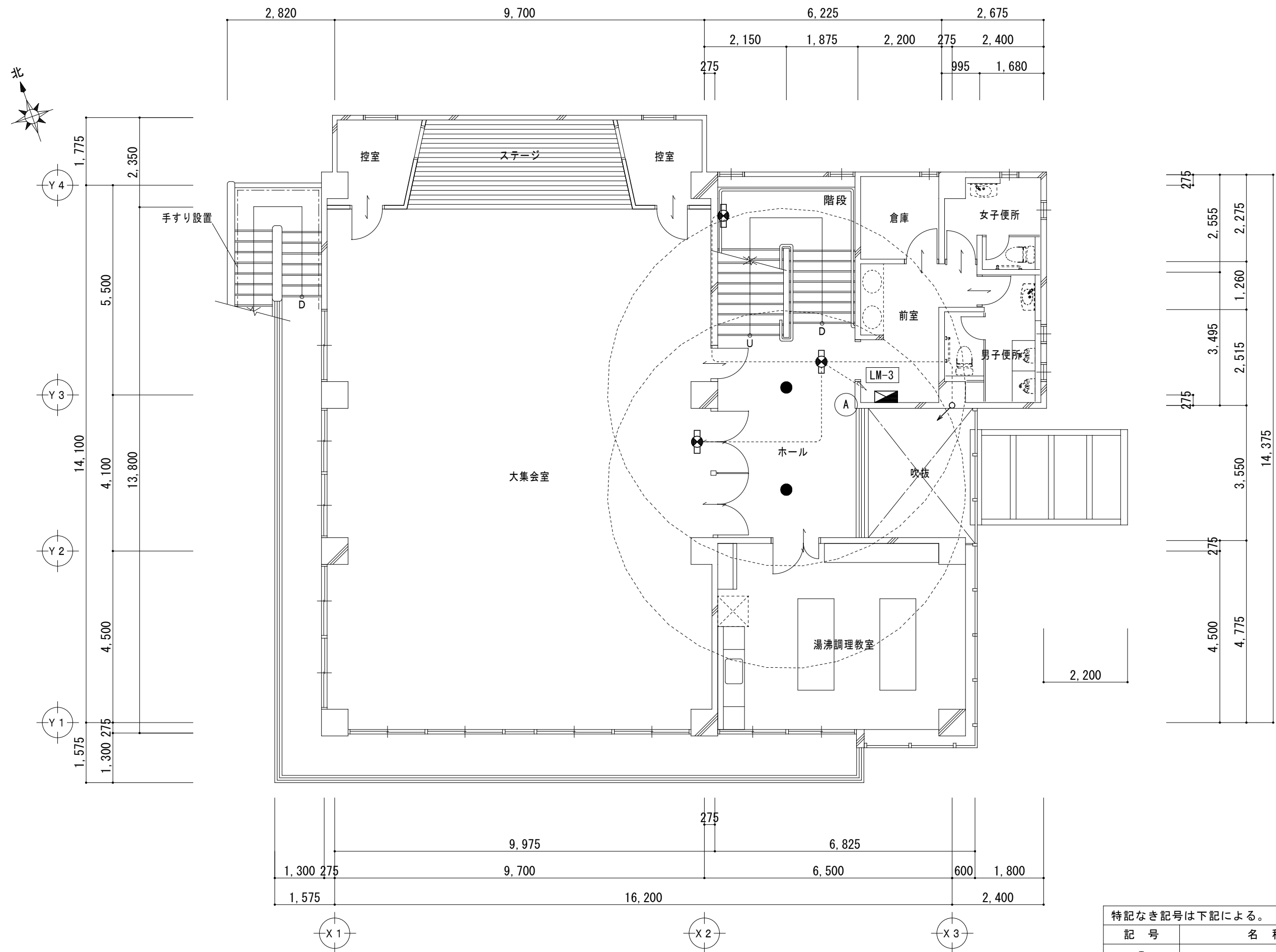
1 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	LED40×1 (壁付)	新設
	LED灯-非常用照明	新設








2 階 平 面 図 1/100

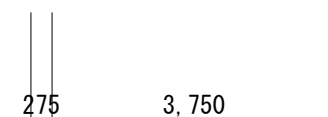
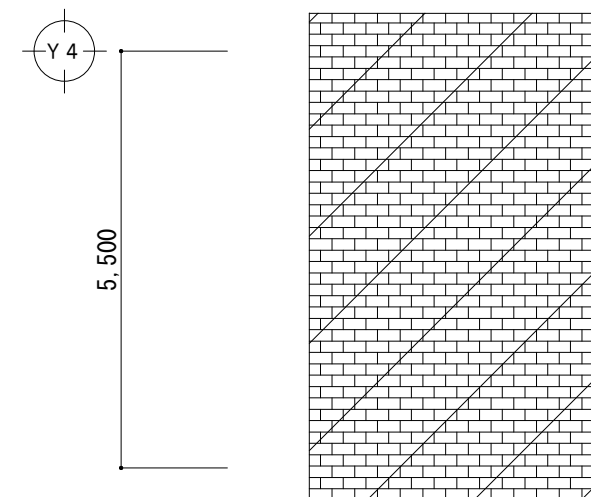
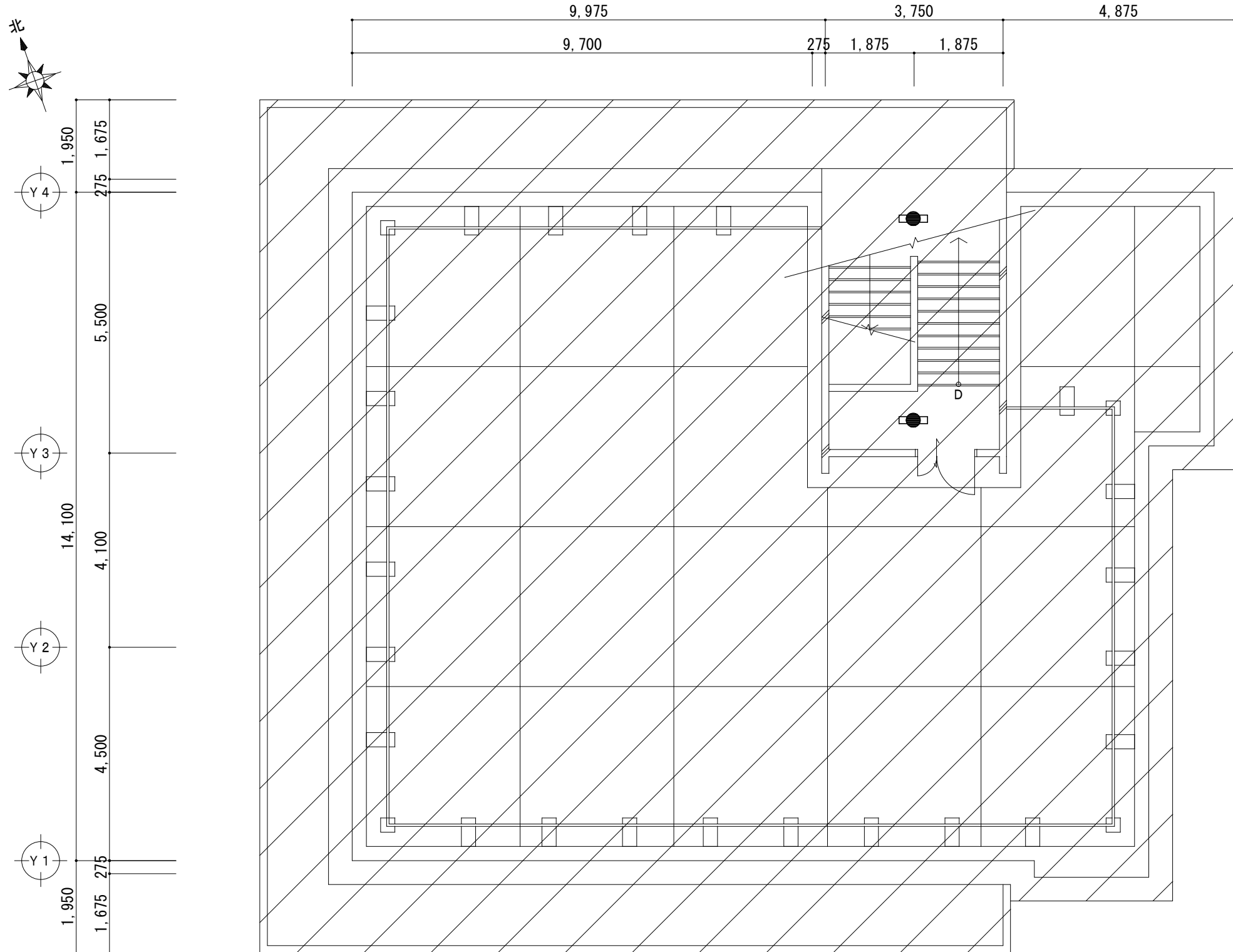
特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
□●	FL20×1-誘導灯	撤去
●	白熱灯-非常用照明	撤去



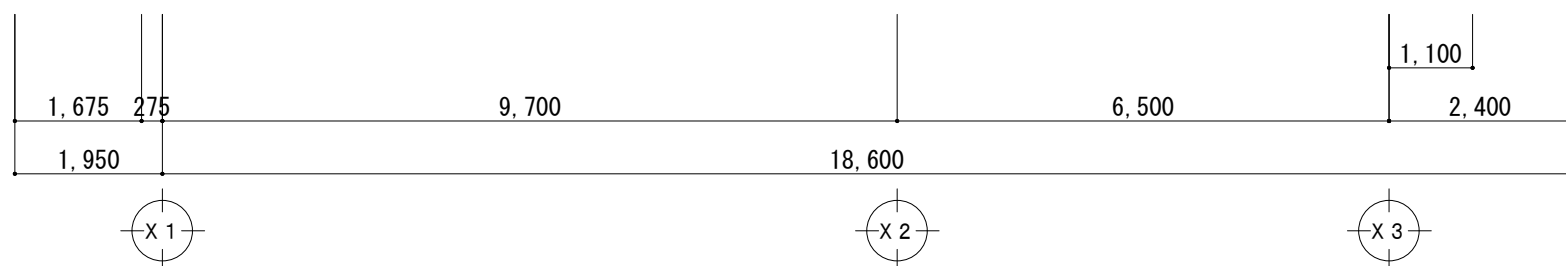
2 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	LED20×1-誘導灯	新設
	LED灯-非常用照明	新設


特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）					<div> 株式会社 前野建築設計</div> <div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	<div>法適合確認</div> <div></div>	<div>作図</div> <div></div>	工事名称	設計日
											南福崎公民館長寿命化改修工事			R6/3/25	
											図面名称			縮尺	図面番号
											改修後 非常照明・誘導灯設備 2階平面図			A1:1/50 A3:1/100	E18

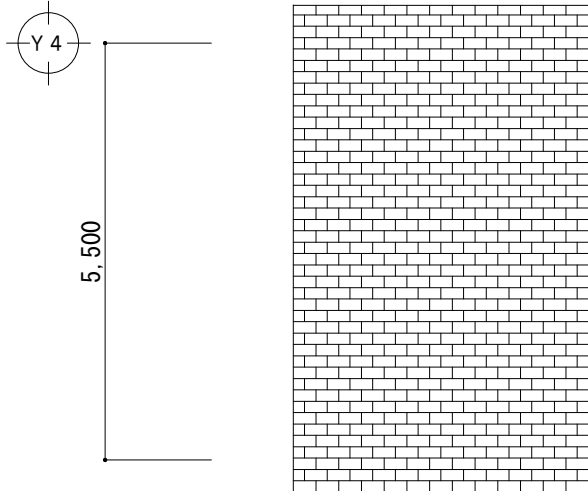
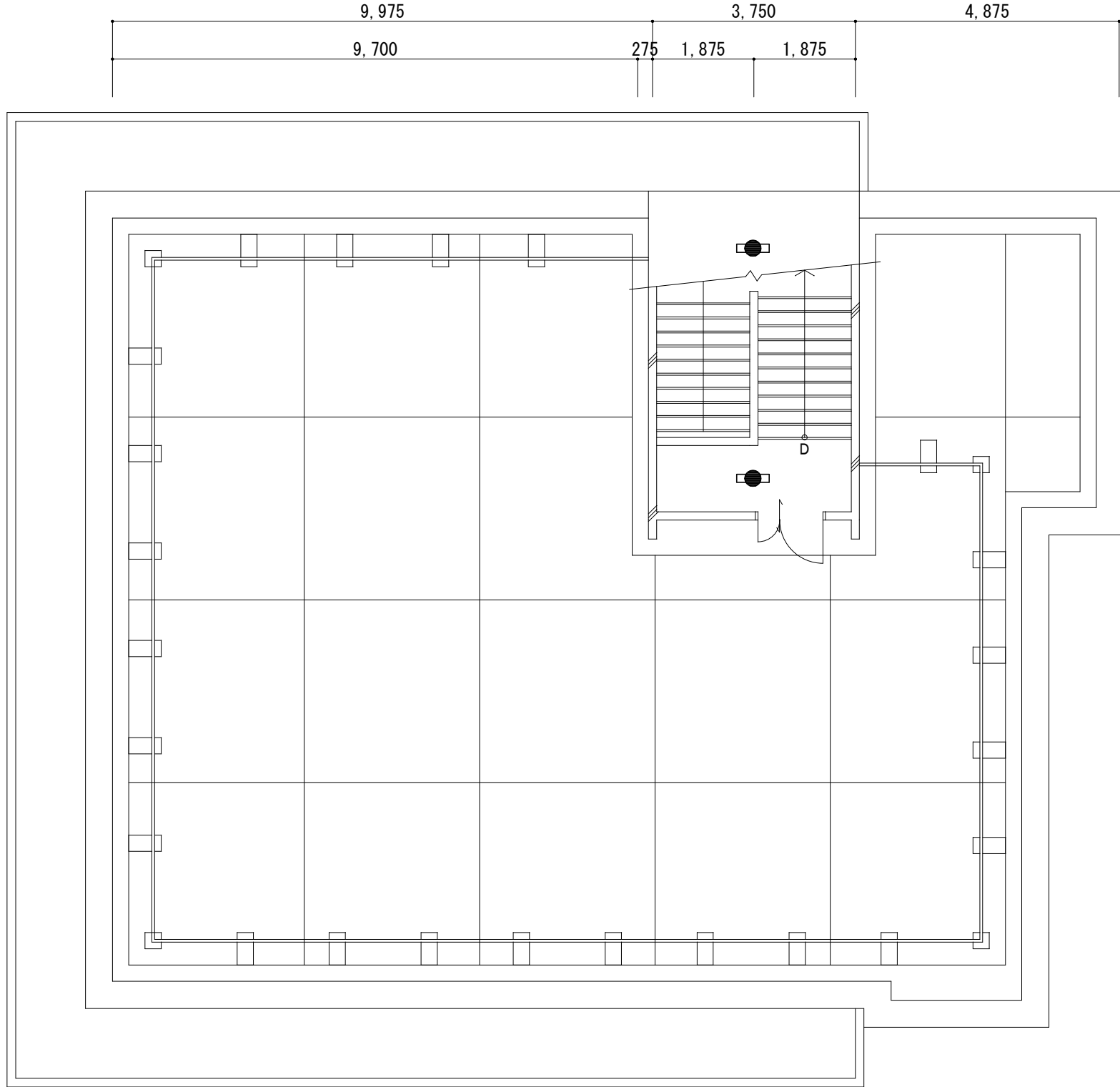
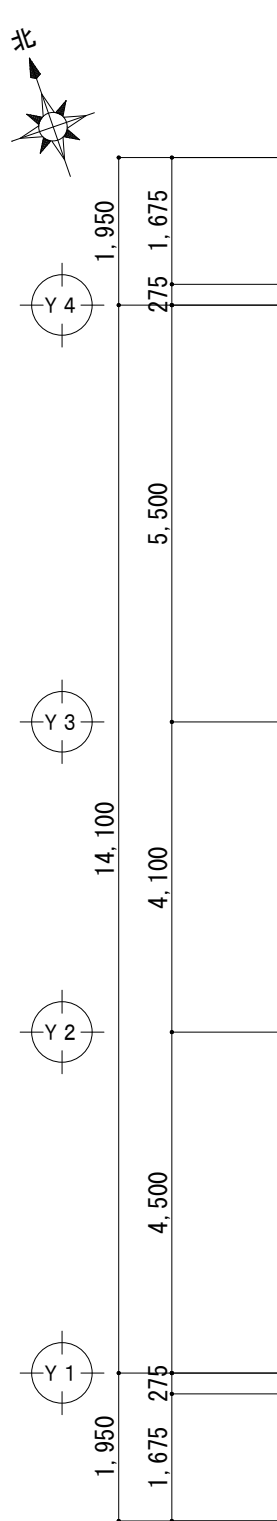


屋 根 伏 図 1/100

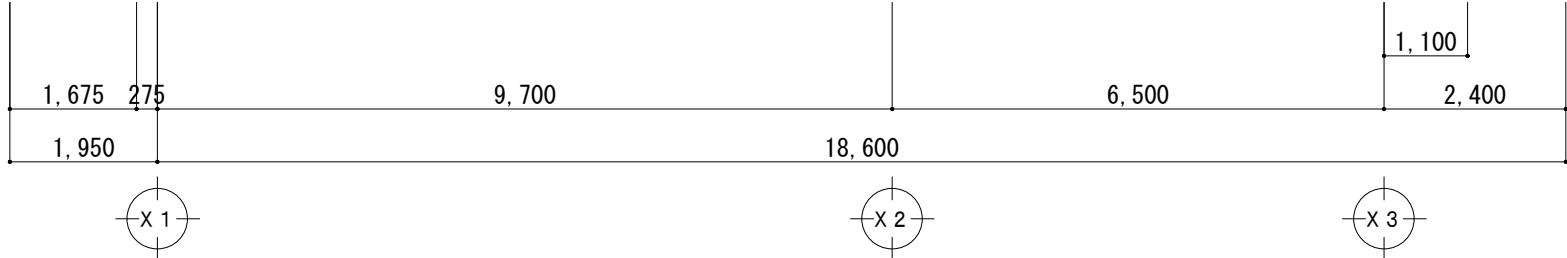


R 階 平 面 図 1/100

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div></div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div> <div>株式会社 前野建築設計</div> <div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	<div>法適合確認</div> <div>作図</div> <div>検図</div>	工事名称	設計日
					一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	南福崎公民館長寿命化改修工事		R6/3/25	
									図面名称		縮 尺	図面番号
									<div>改修前</div> 非常照明・誘導灯設備 R階平面図		A1:1/50 A3:1/100	E19



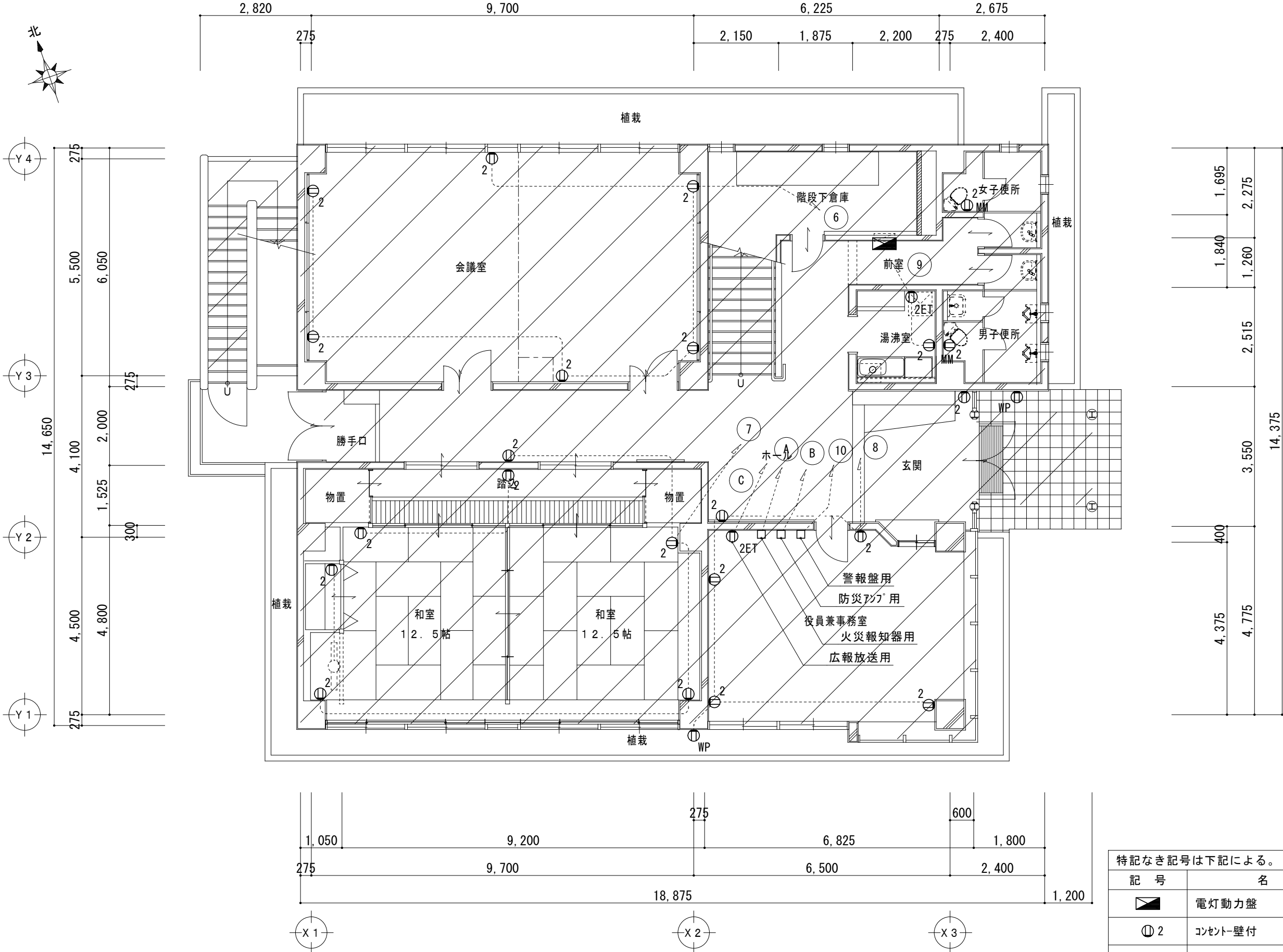
屋根伏図 1/100



R階平面図 1/100


特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div><div><div>MAINDO</div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	一級建築士 第320204号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号			一級建築士 第307846号	設計担当	南福崎公民館長寿命化改修工事	R6/3/25					
	前野 将輝	加藤 早妃	前田 祐作			三橋 五百子	校図	図面名称	縮 尺	図面番号				
	改修後 非常照明・誘導灯設備 R階平面図					A1:1/50 A3:1/100	E20							

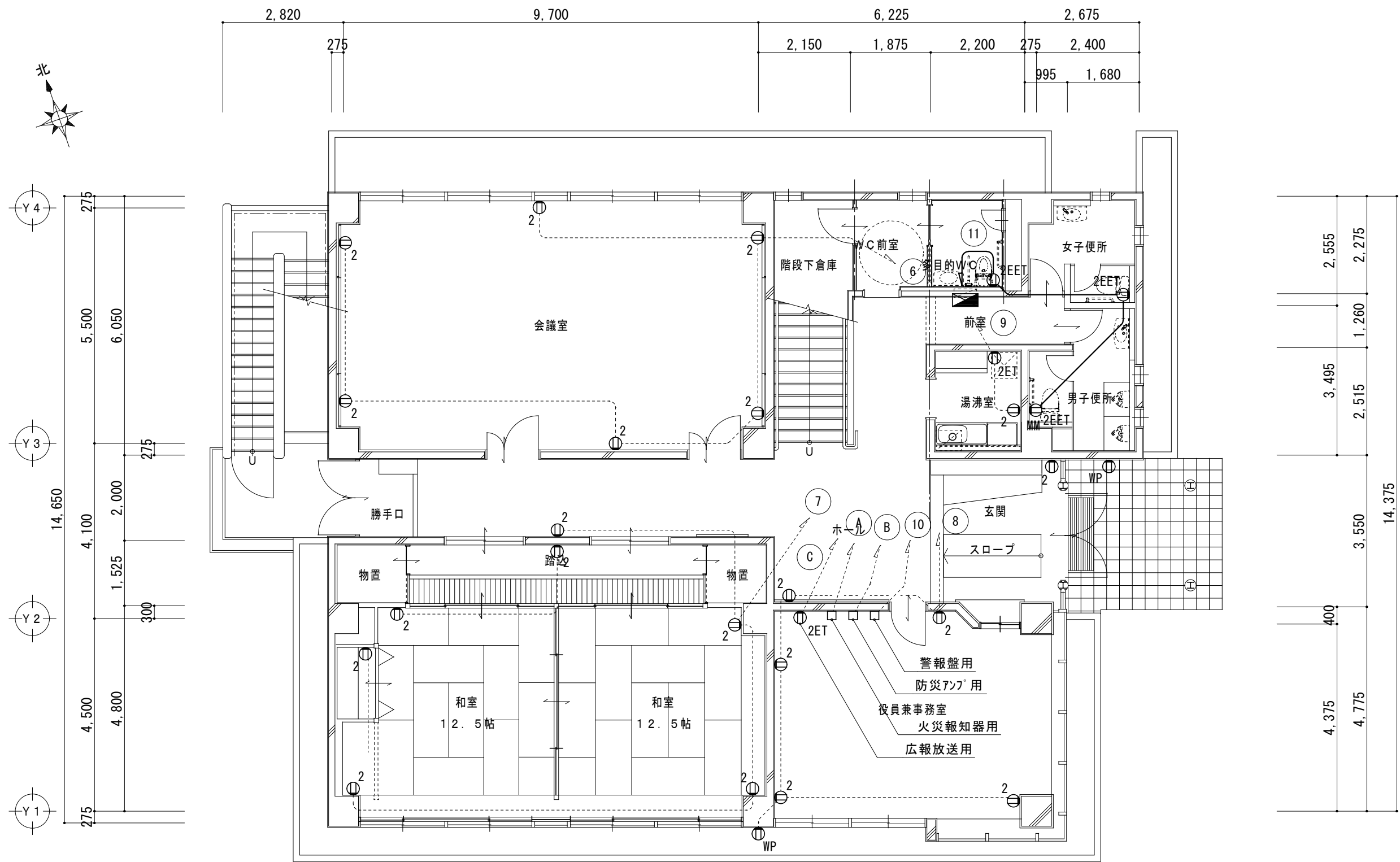




1 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。

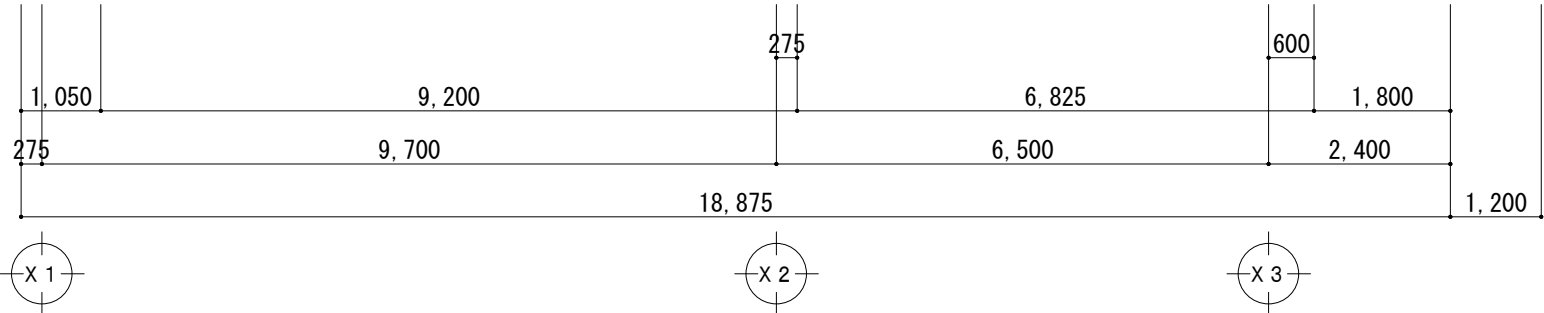
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	撤去
Ⓜ 2	コンセント-壁付	撤去
Ⓜ 2ET	コンセント-壁付	撤去
Ⓜ WP	コンセント-壁付	撤去



特記なき配線は下記による。	
	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22)

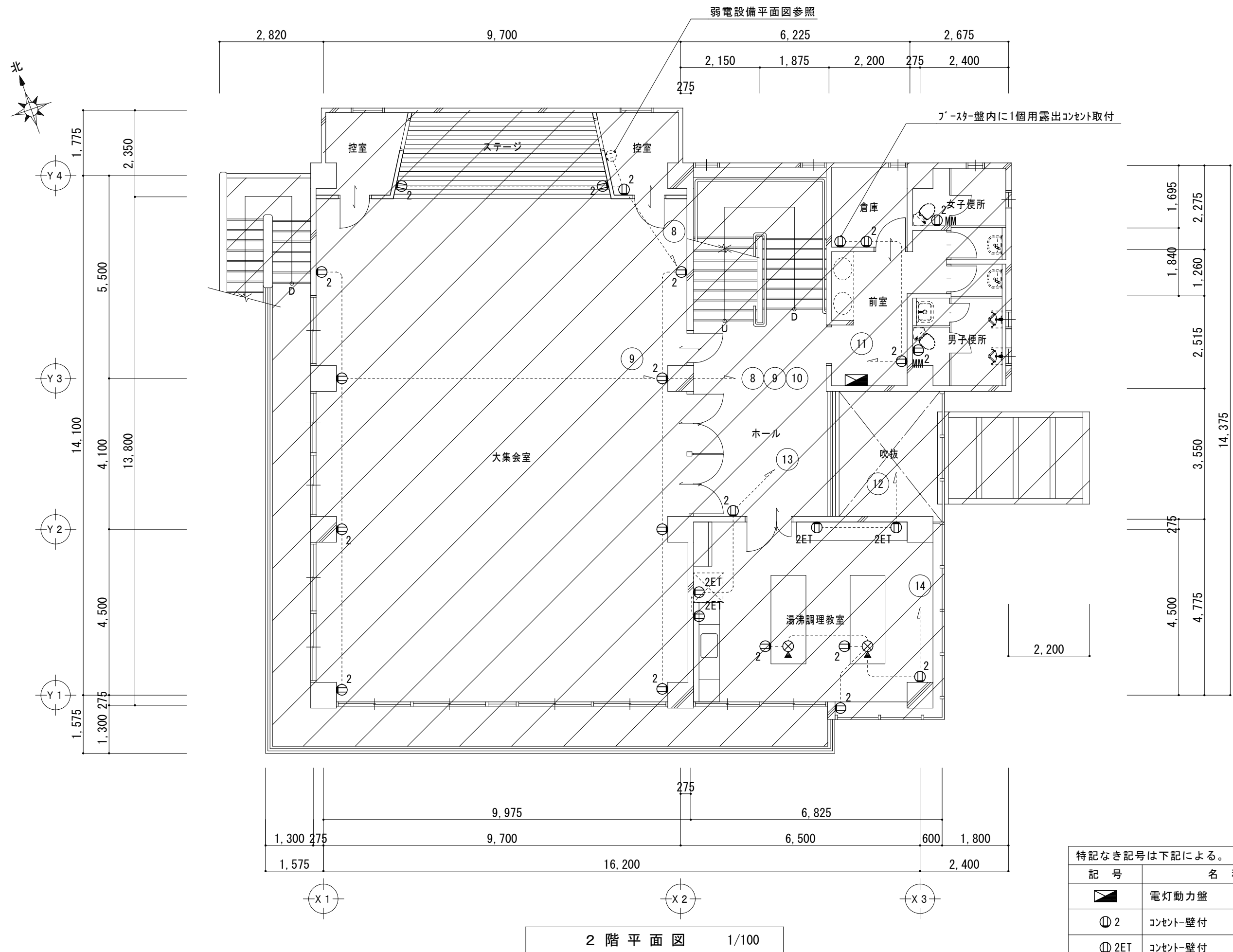
【注記】


- ・点線表記の配線は既設のままを示す。
- ・配線は天井裏ころがしとし、P S及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP F管にて保護する。
- （立下露出部は金属線びにて保護する）

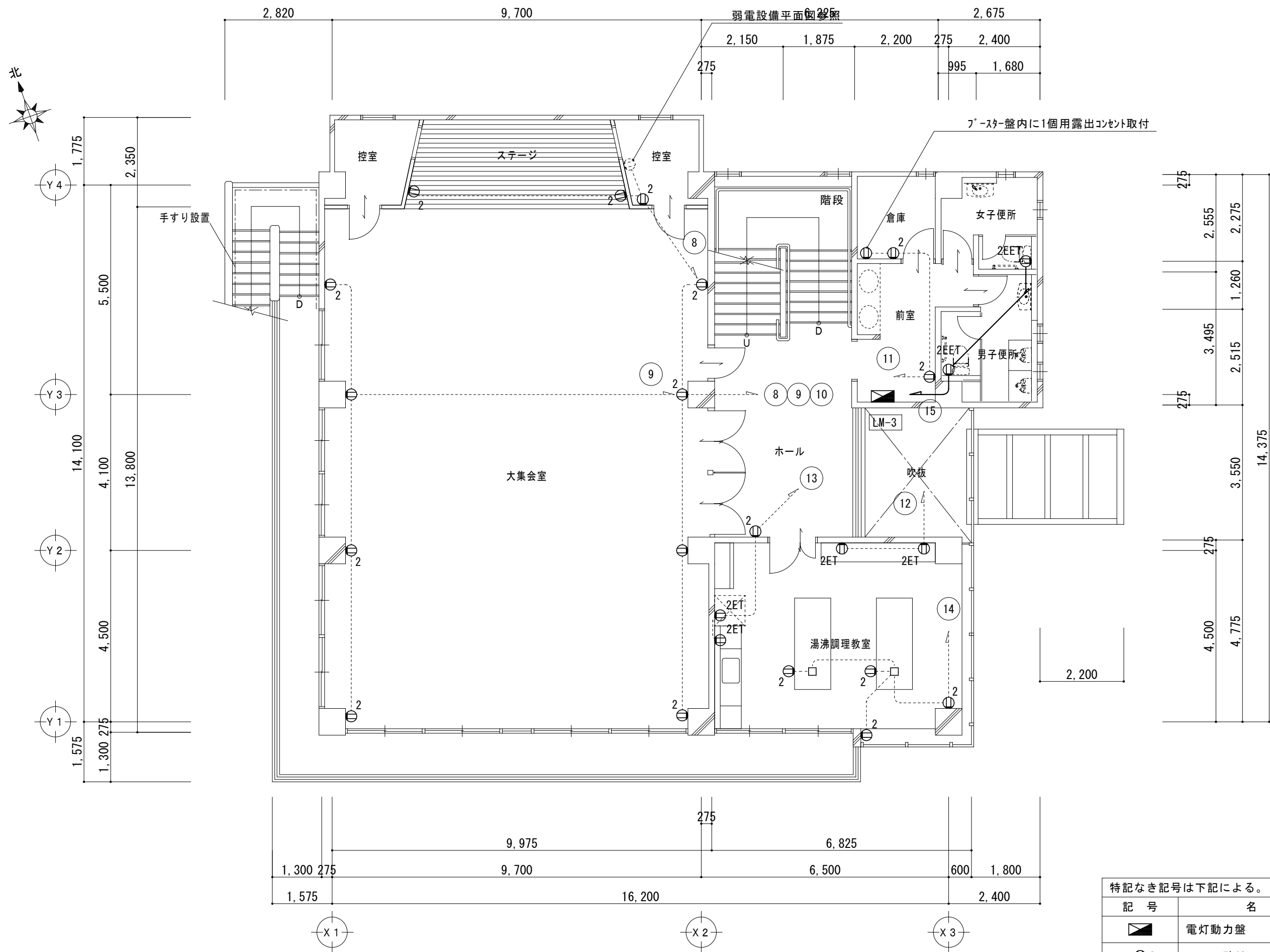


1 階 平 面 図 1/100

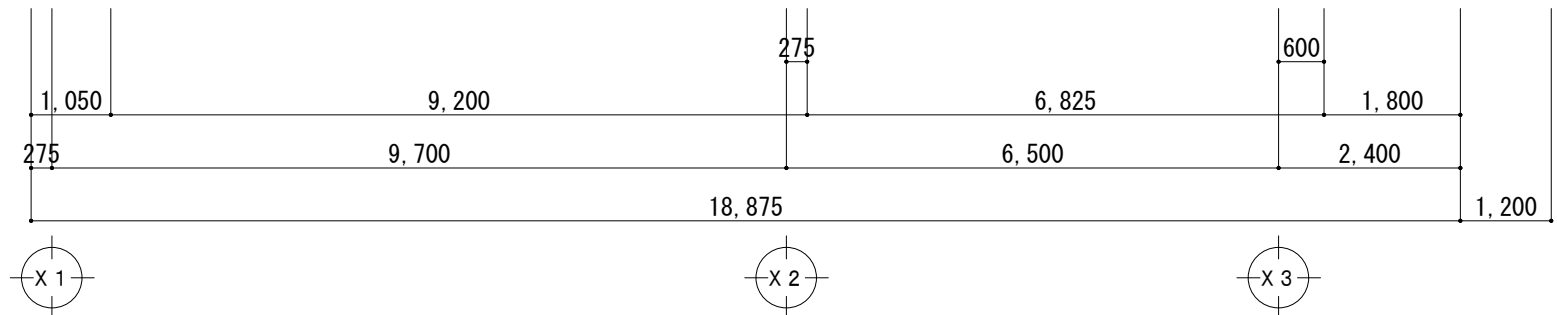
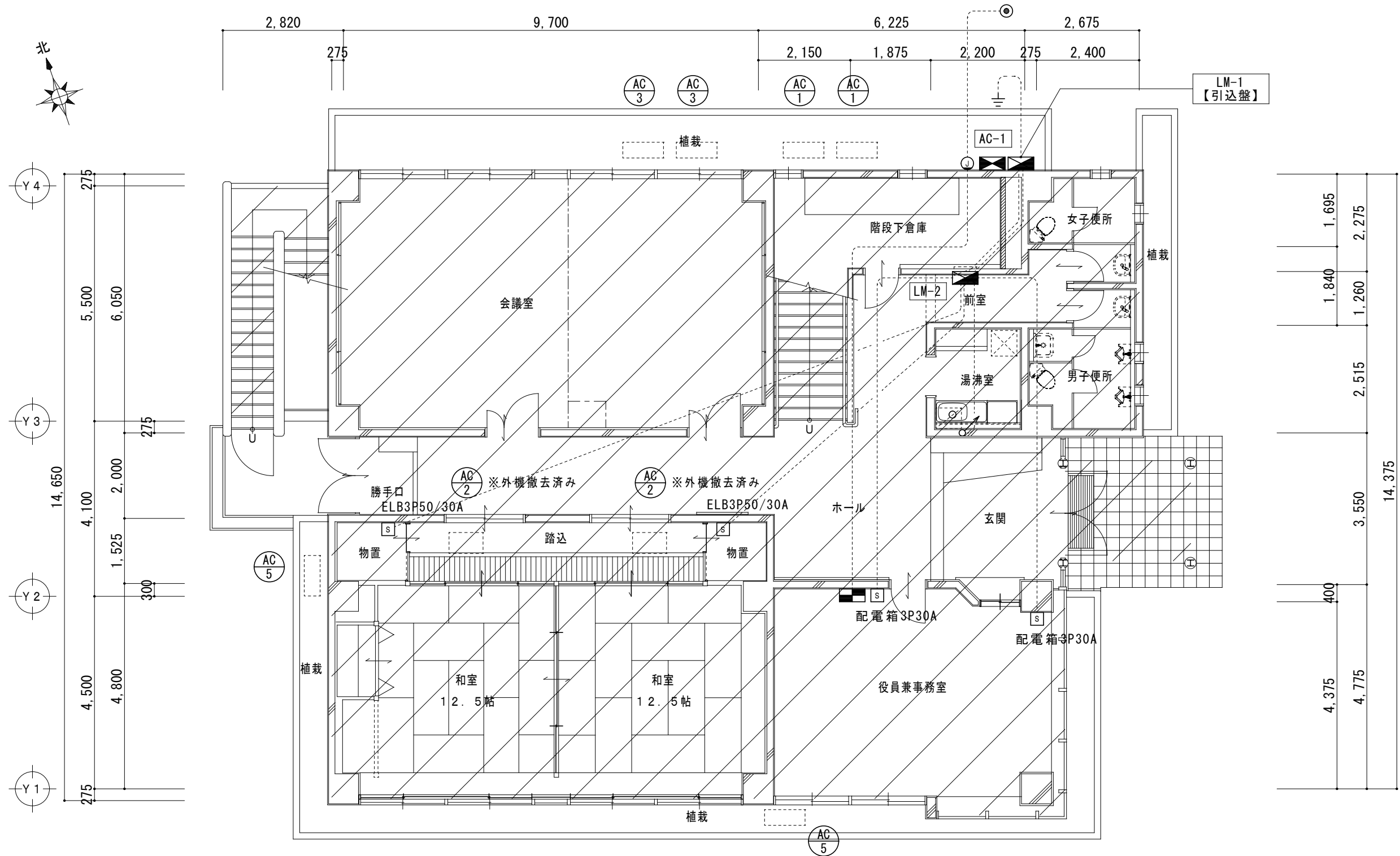
特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	新設
Ⓜ 2	コンセント-壁付 2P15A×2	新設
Ⓜ 2EET	コンセント-壁付 2P15A×2 EET	新設
Ⓜ WP	コンセント-壁付 フル接地防水ダブルコンセント抜止式	新設



特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	撤去
⑩ 2	コンセント-壁付	撤去
⑩ 2ET	コンセント-壁付	撤去

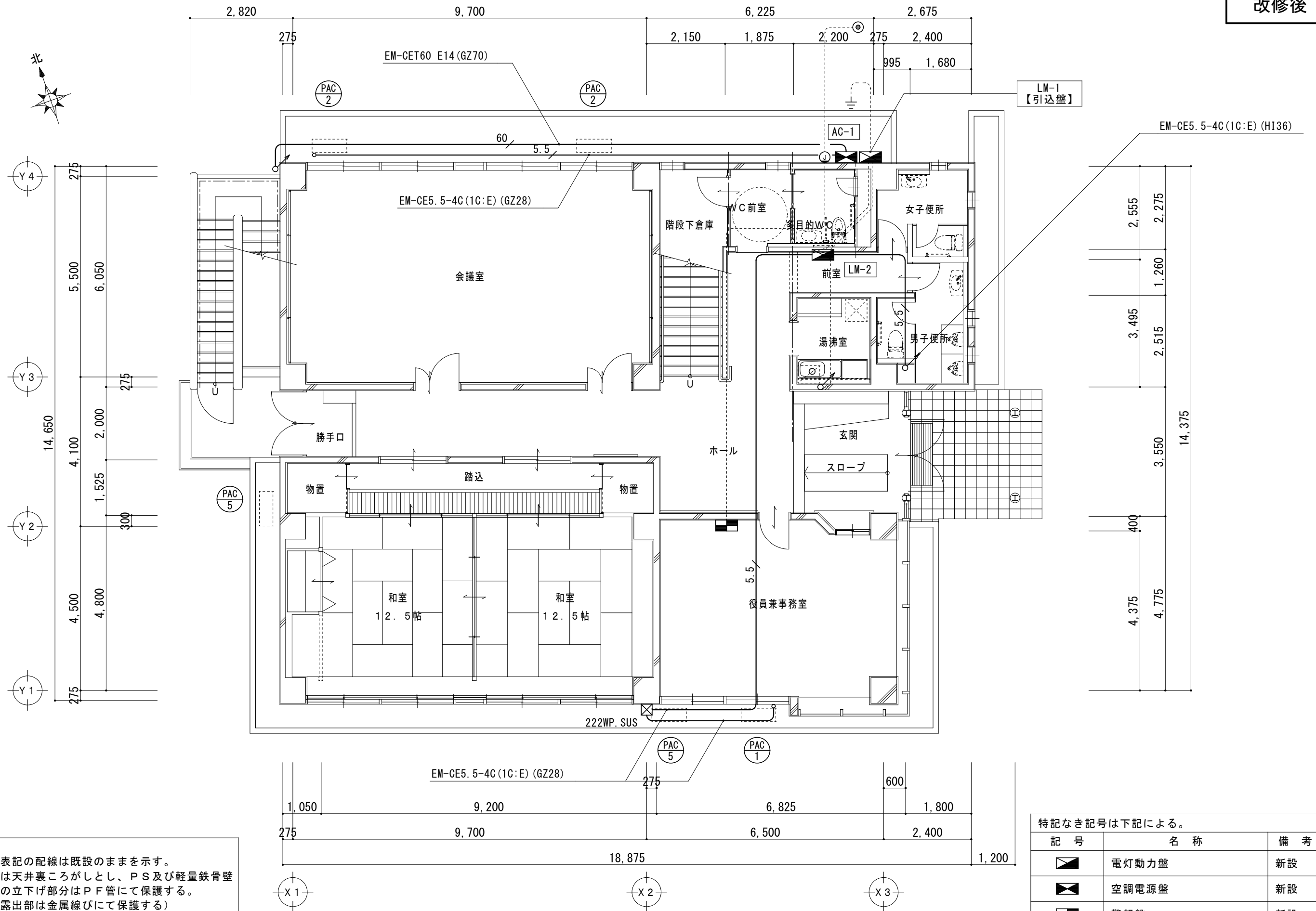


特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
■	電灯動力盤	新設
Ⓜ 2	コンセント-壁付	新設
Ⓜ 2EET	コンセント-壁付	新設



1 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	撤去
	空調電源盤	撤去
	警報盤	撤去
	開閉器	撤去







【注記】

- ・点線表記の配線は既設のままを示す。
- ・配線は天井裏ころがしとし、P S 及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP F 管にて保護する。

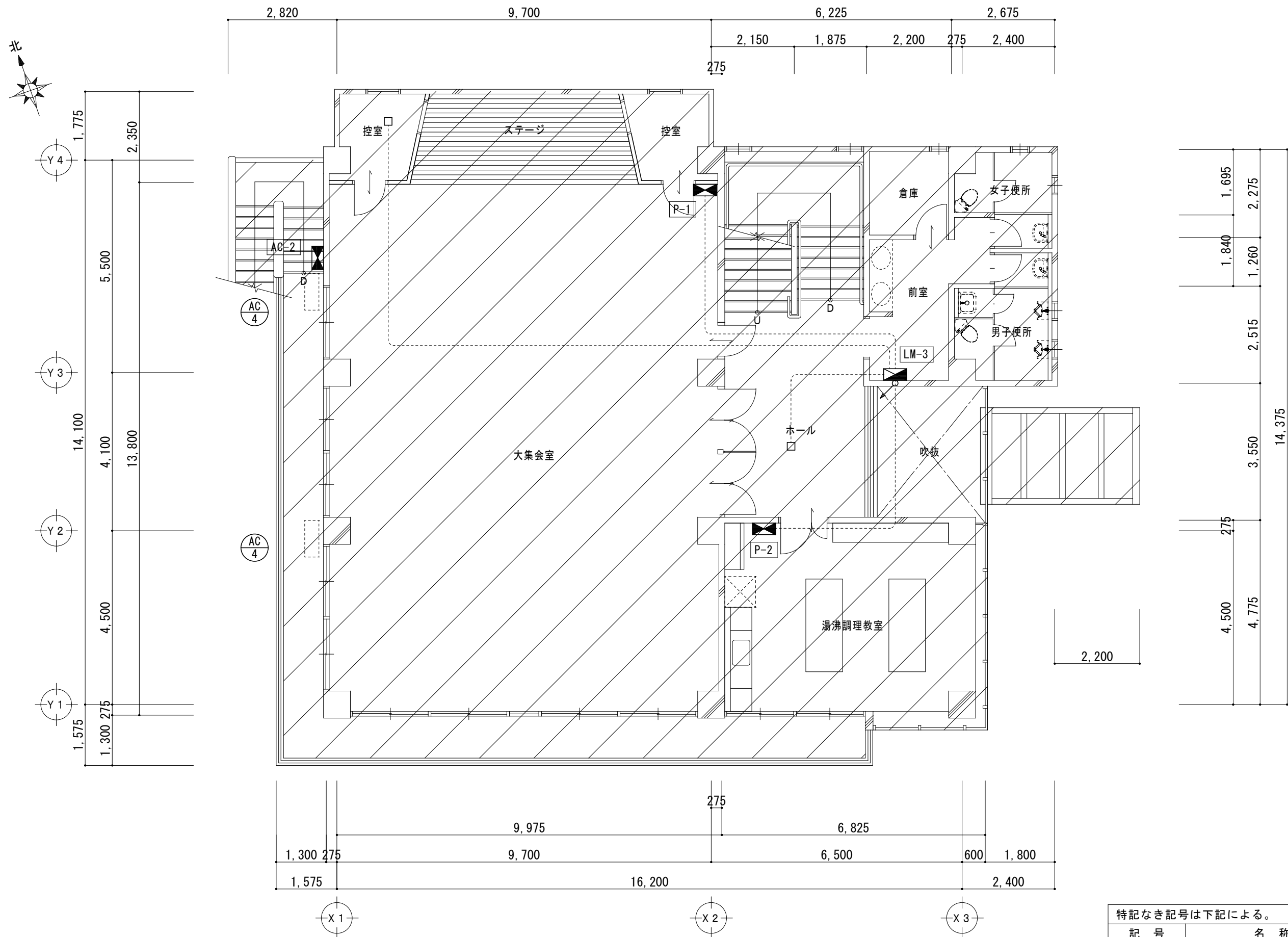
(立下露出部は金属線びにて保護する)

- ・空調室外機への電源接続は、金属製可とう電線管(ビニル被服あり・防水)とする。

1 階 平 面 図 1/100

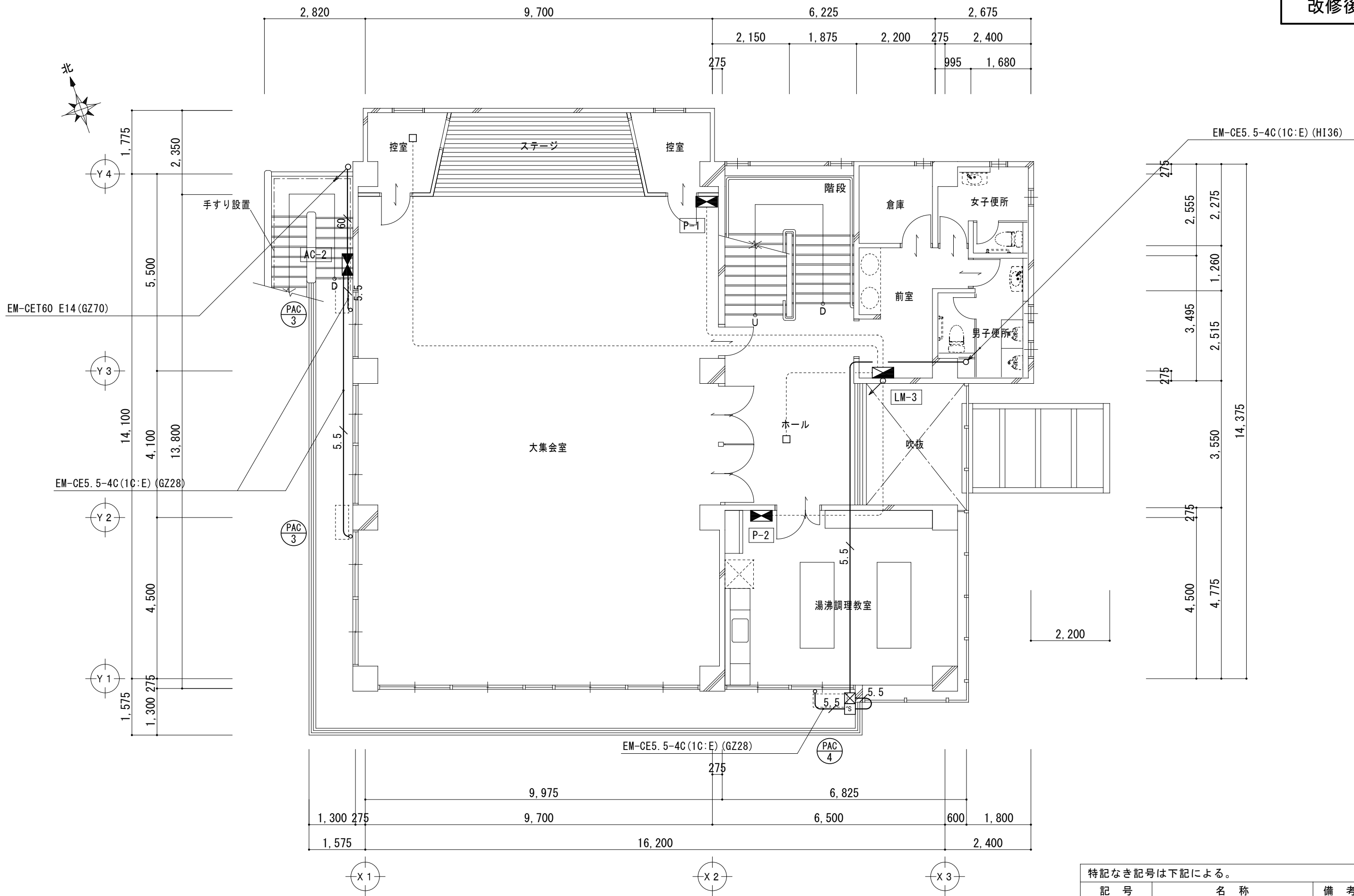
特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	新設
	空調電源盤	新設
	警報盤	新設
	ﾌﾞﾙｯｸｽ	新設





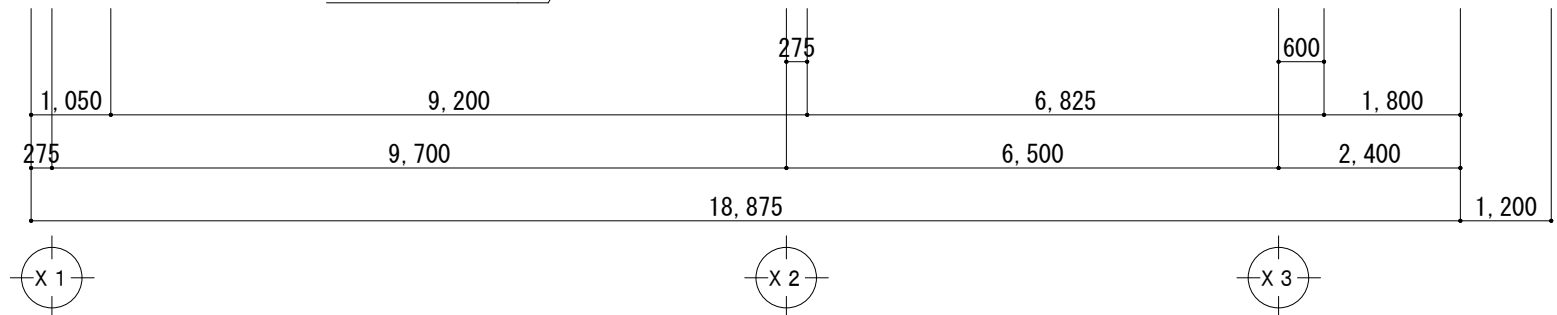
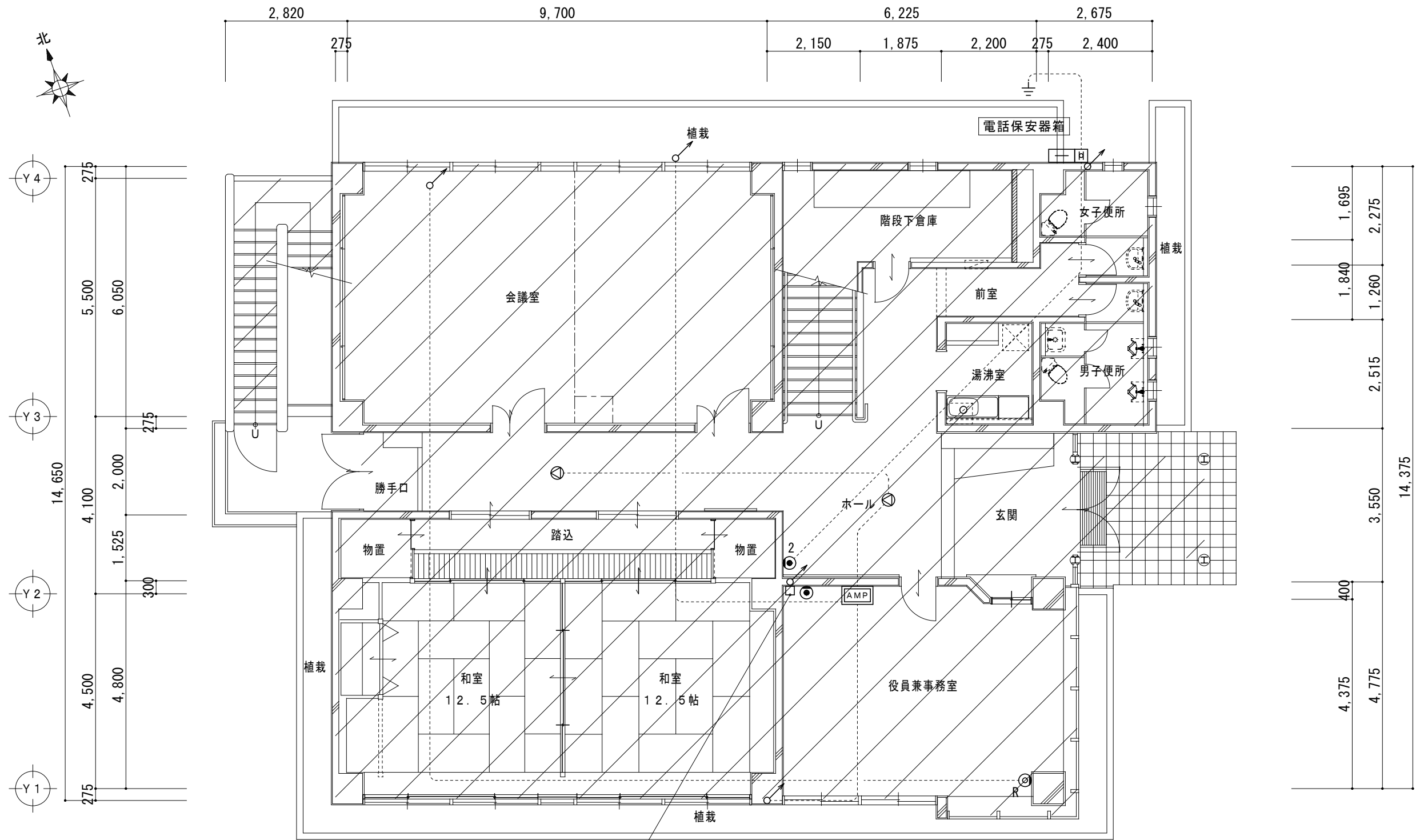
2 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	空調電源盤・換気操作盤	撤去



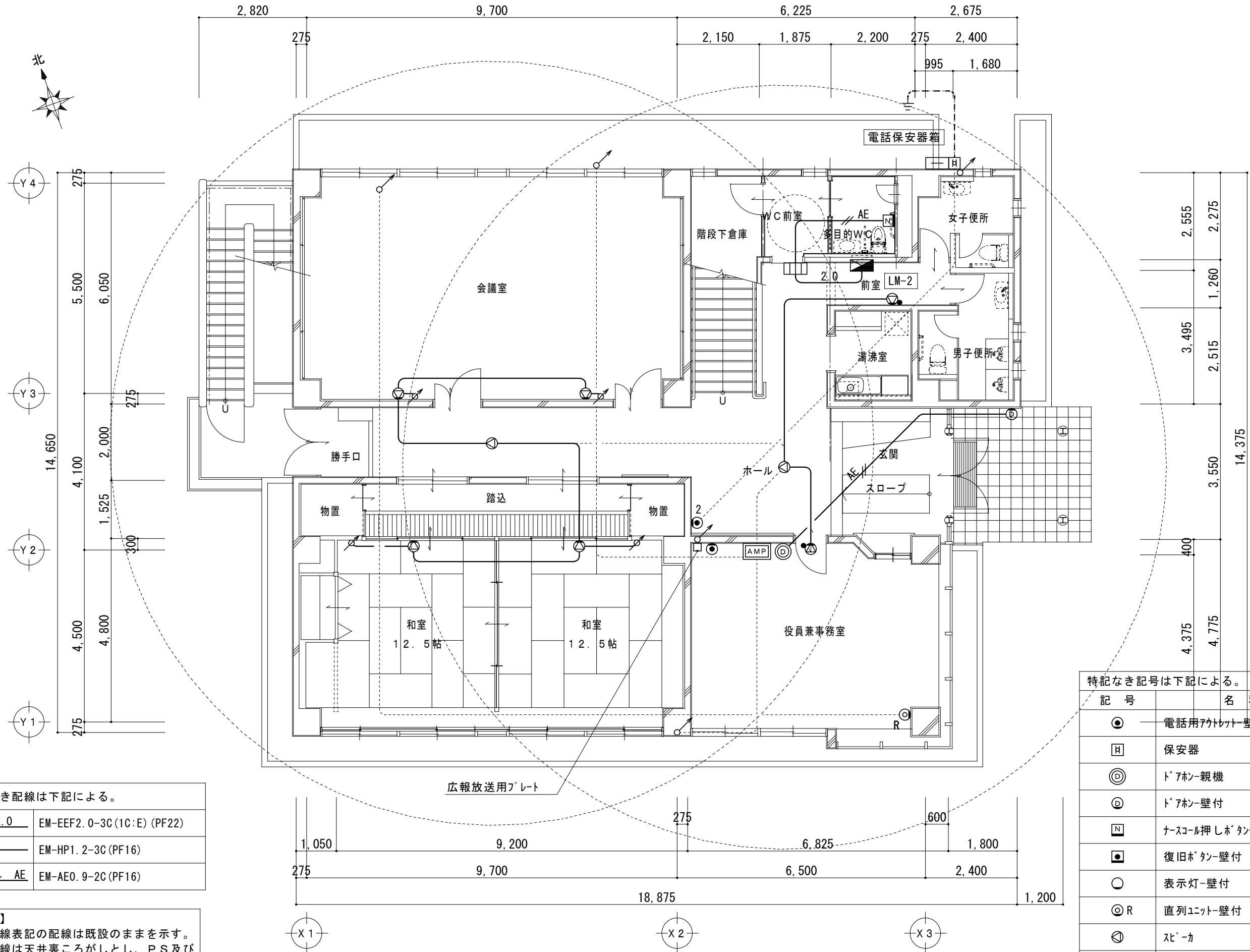
2 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	空調電源盤・換気操作盤	新設



1 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
●	電話用アクトレット-壁付	撤去
● 2	電話用アクトレット-壁付	撤去
H	保安器	撤去
◎ R	直列ユニット-壁付	撤去
⊙	スピーカ	撤去
AMP	非常用アンプ	撤去
⊙	LAN用アクトレット-壁付	撤去



特記なき配線は下記による。

2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)
	EM-HP1.2-3C(PF16)
AE	EM-AE0.9-2C(PF16)

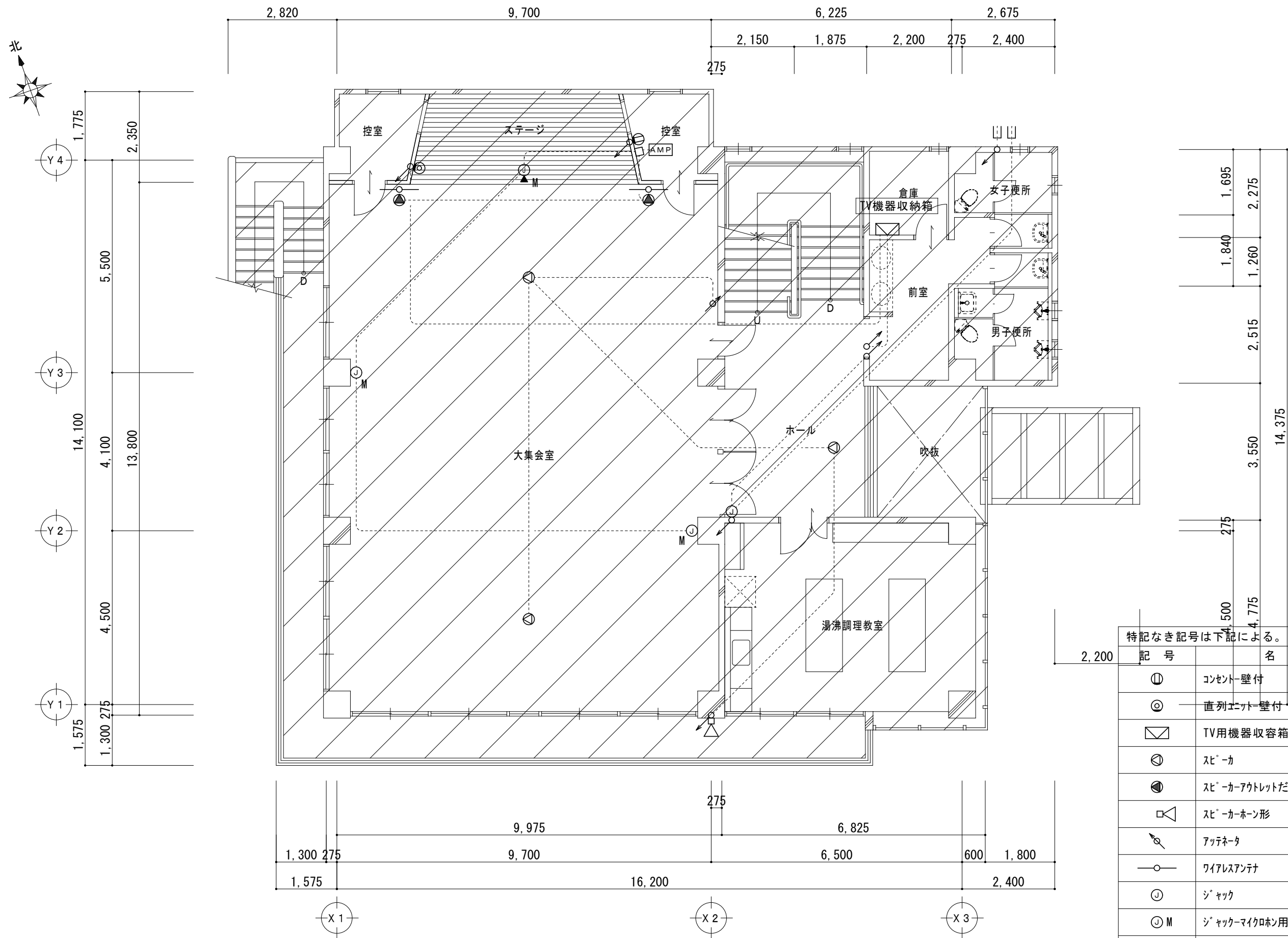
【注記】

- 点線表記の配線は既設のままを示す。
- 配線は天井裏ころがしとし、P S及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP F管にて保護する。  
(立下露出部は金属線びにて保護する)

特記なき記号は下記による。

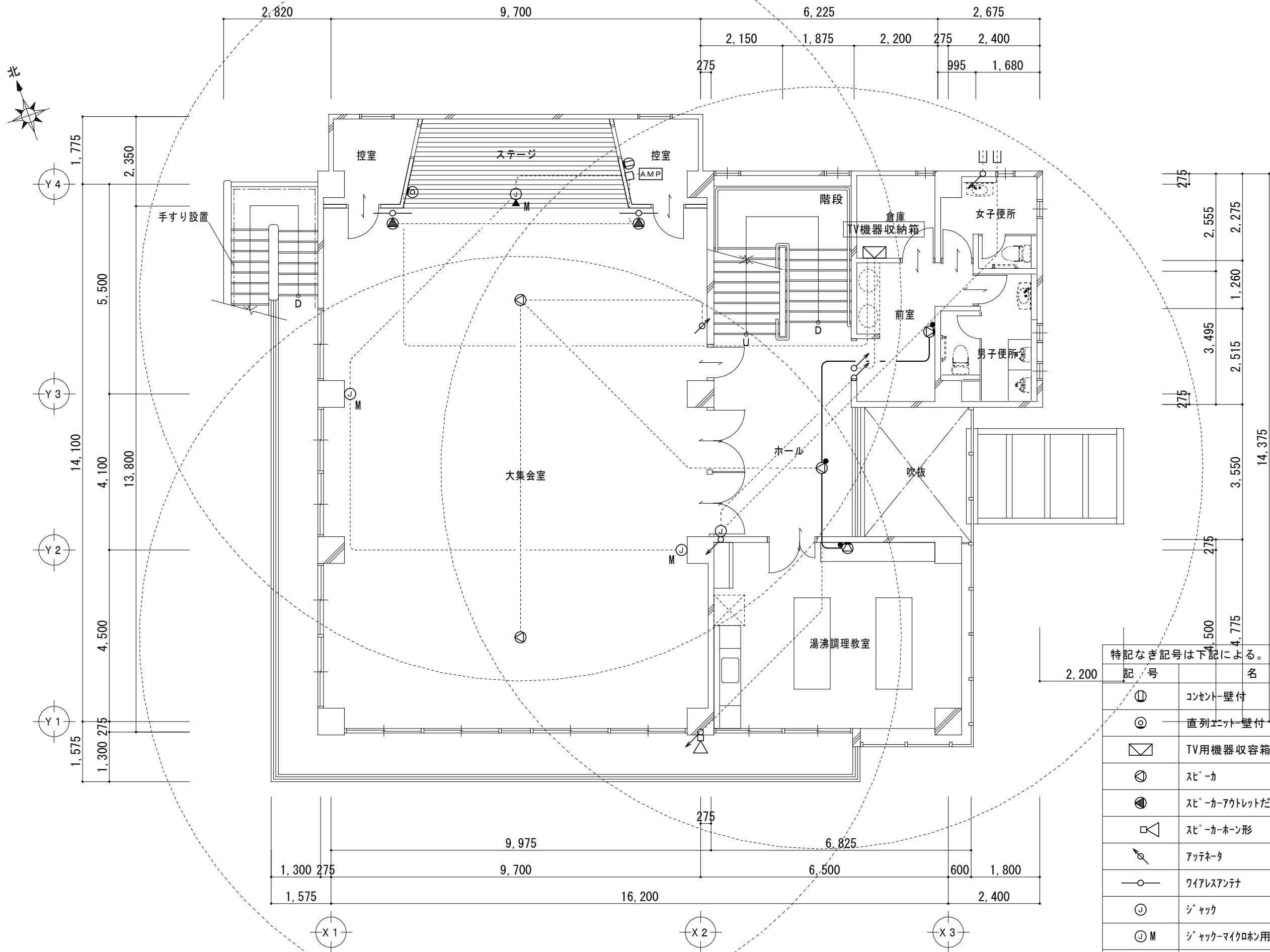
記号	名称	備考
●	電話用アクトレット壁付	新設
H	保安器	新設
◎	トアホン親機	新設
ⓐ	トアホン壁付	新設
N	ナースコール押しボタン壁付	新設
■	復旧ボタン壁付	新設
○	表示灯壁付	新設
◎R	直列ユニット壁付	新設
ⓐ	スピーカー	新設
AMP	非常用アンプ	新設
ⓐ	LAN用アクトレット壁付	新設

1 階 平 面 図 1/100



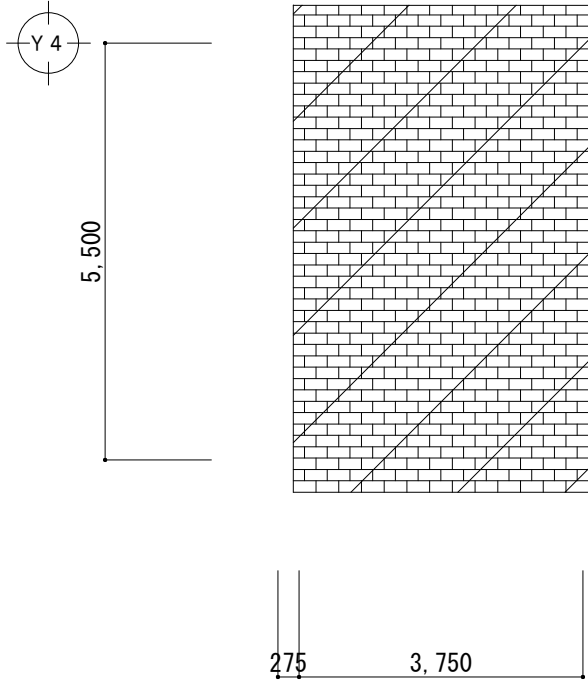
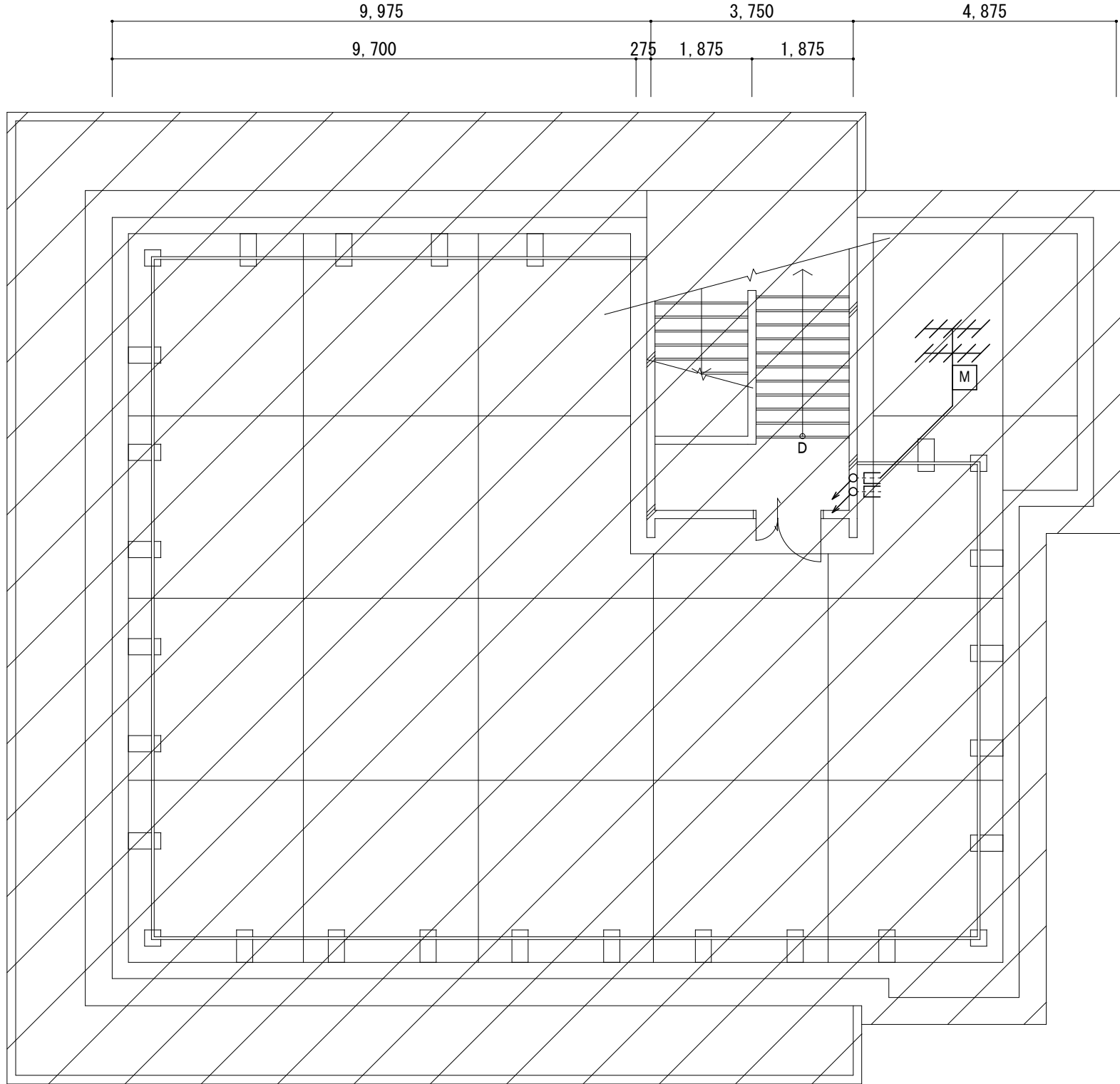
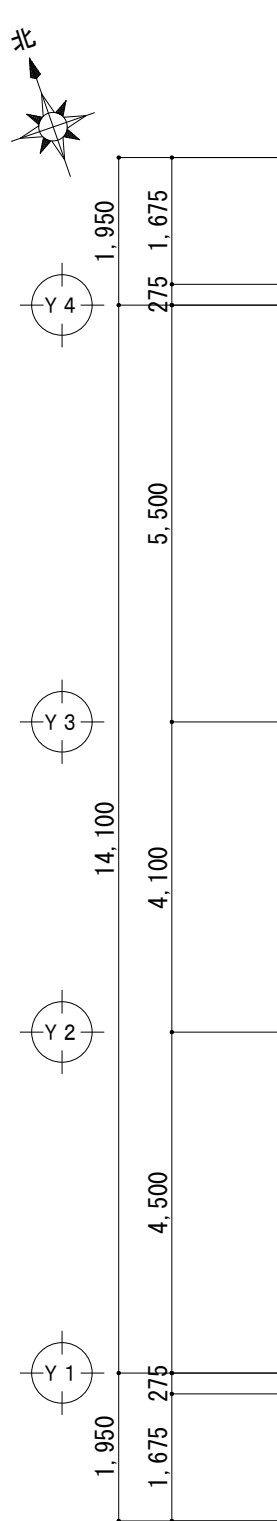
特記なき記号は下記による。			
記 号	名 称	備 考	
①	コンセント壁付	撤去	
②	直列エント壁付	撤去	
Ⓜ	TV用機器収容箱	撤去	
③	スピーカ	撤去	
④	スピーカアウトレットだけ	撤去	
⑤	スピーカホーン形	撤去	
⑥	アッテネータ	撤去	
⑦	ワイアレスアンテナ	撤去	
⑧	ジャック	撤去	
⑧ M	ジャック-マイクロホン用	撤去	
⑧ M	ジャック-床付-ボックス有-マイクロホン用	撤去	
AMP	増幅器	撤去	

2 階 平 面 図 1/100

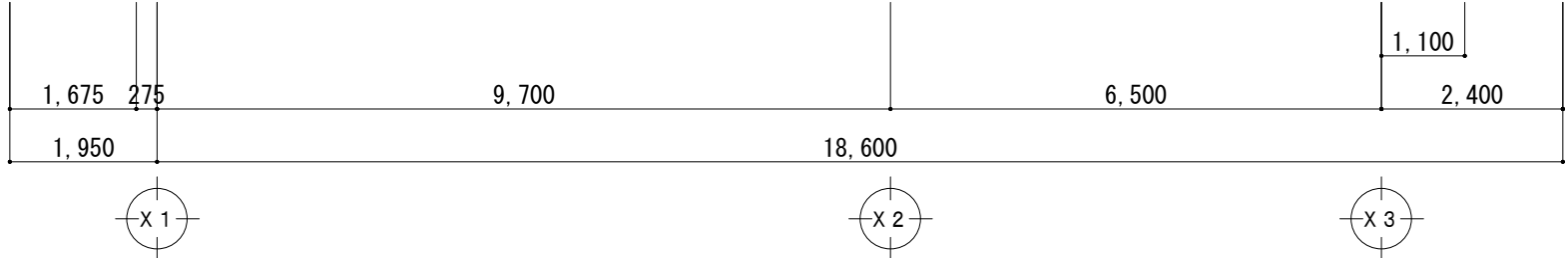


2 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。			
記 号	名 称	備 考	
①	コンセント-壁付	新設	
②	直列エネコ-壁付	新設	
✉	TV用機器収容箱	新設	
⦿	スピーカ	新設	
●	スピーカ-アウトレットだけ	新設	
◁▷	スピーカ-ホーン形	新設	
↗	アッテネータ	新設	
—○—	ワイアレスアンテナ	新設	
⓵	ジ ャ ッ ク	新設	
⓵ M	ジ ャ ッ ク-マイクロホン用	新設	
⓵ M	ジ ャ ッ ク-床付-ボックス有-マイクロホン用	新設	
AMP	増幅器	新設	

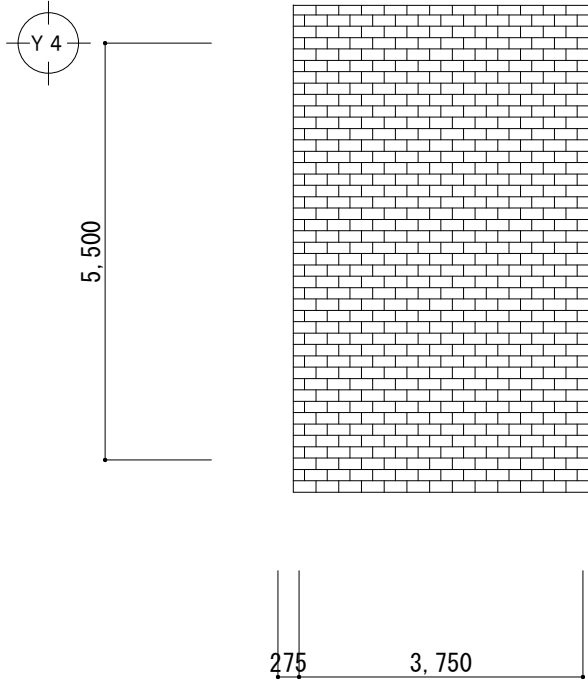
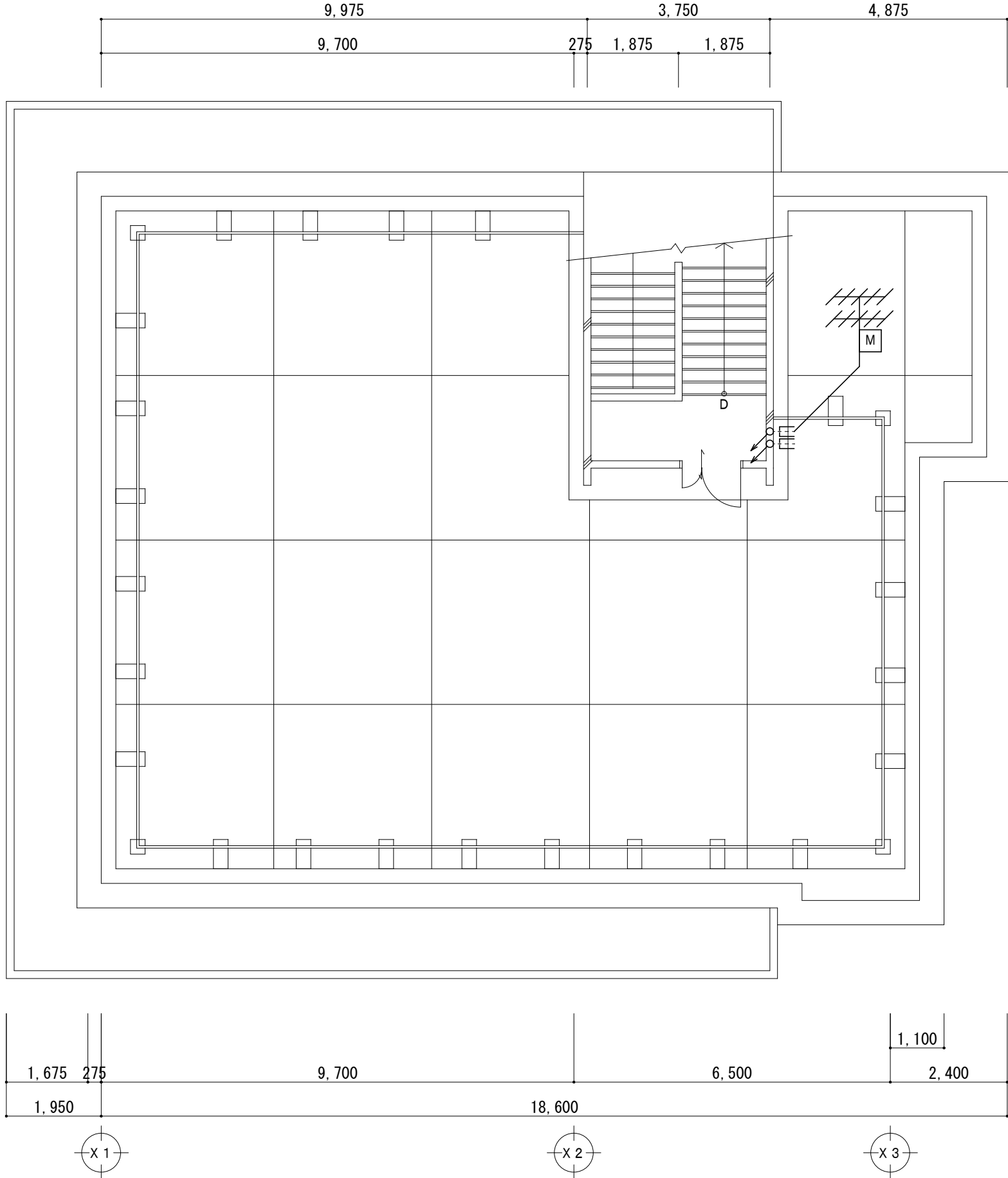
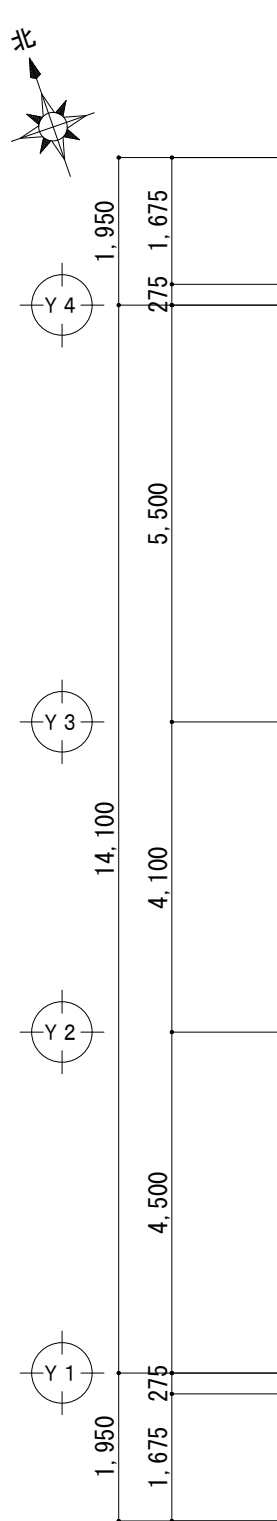


屋根伏図 1/100





R 階 平 面 図 1/100

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）				一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 校図	工事名称	設計日
					株式会社 前野建築設計		一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士			南福崎公民館長寿命化改修工事	R6/3/25
					管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		前野 将輝	加藤 早妃	前田 祐作	三橋 五百子	三橋 五百子			図面名称	図面番号
														改修前 弱電設備 R階平面図	E33

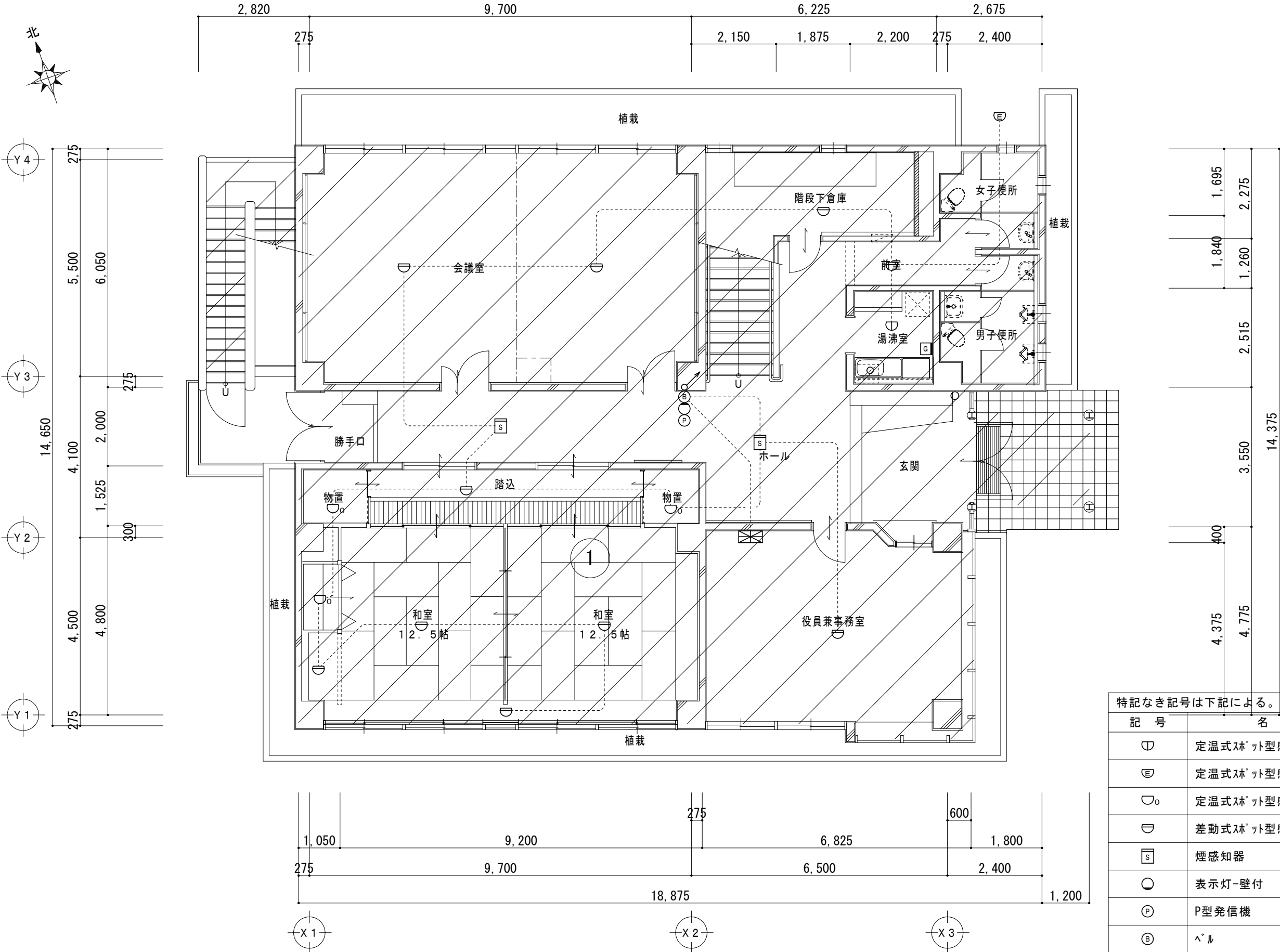


屋根伏図 1/100

R階平面図 1/100

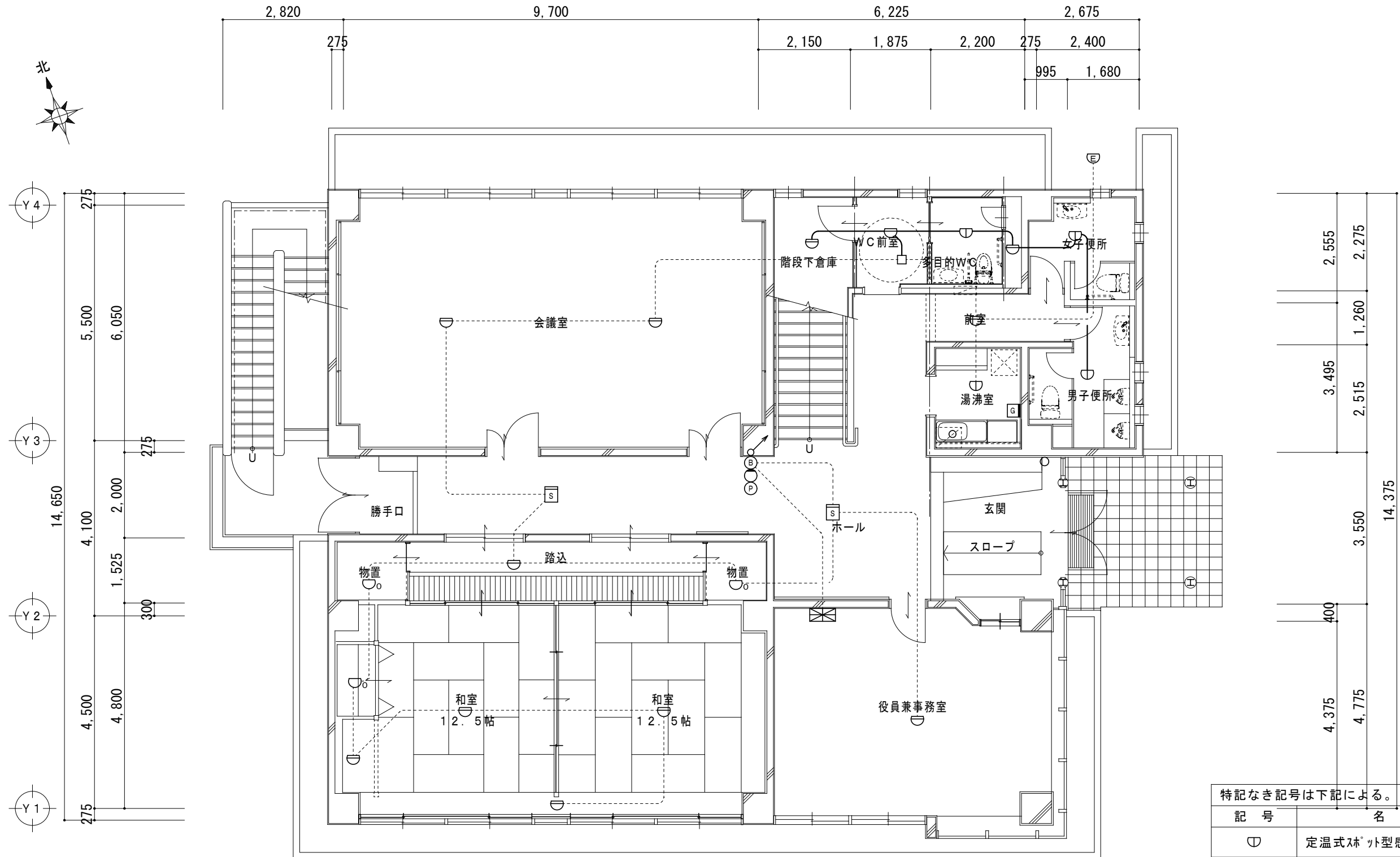
特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div><div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当	<div><div></div><div>法適合確認</div></div>	<div>作図</div> <div>校図</div>	工事名称 南福崎公民館長寿命化改修工事		設計日 R6/3/25
	図面名称 改修後 弱電設備 R階平面図		縮尺 A1:1/50 A3:1/100									図面番号 E34		





1 階 平 面 図 1/100

記 号	名 称	備 考
㊦	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器-防水形	撤去
㊧	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器-防爆形	撤去
㊨	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器-特種	撤去
㊩	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器	撤去
㊪	煙感知器	撤去
○	表示灯-壁付	撤去
Ⓟ	P型発信機	撤去
ⓑ	ﾊﾞﾙ	撤去
㊫	受信機	撤去
㊬	検知器-壁掛形	撤去

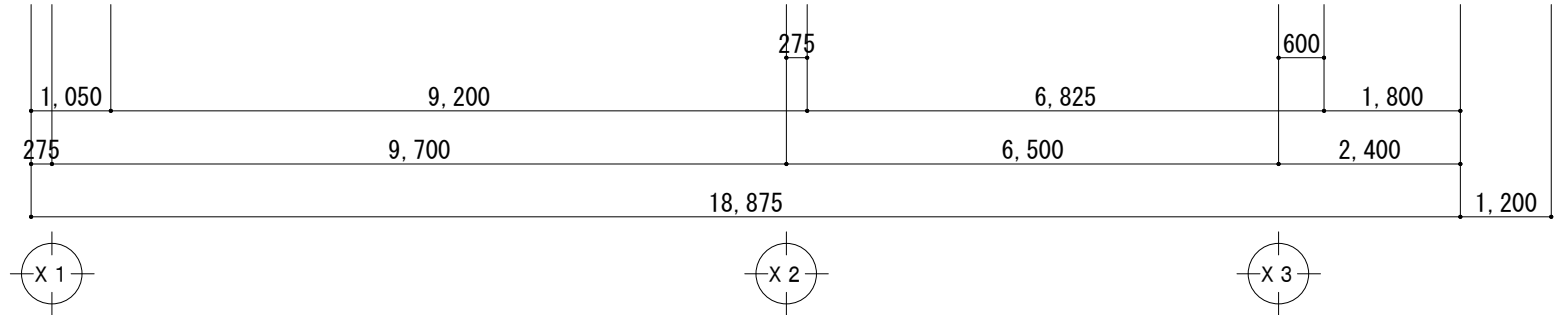


特記なき配線は下記による。

——	EM-AE1. 2-4C (PF16)
----	---------------------

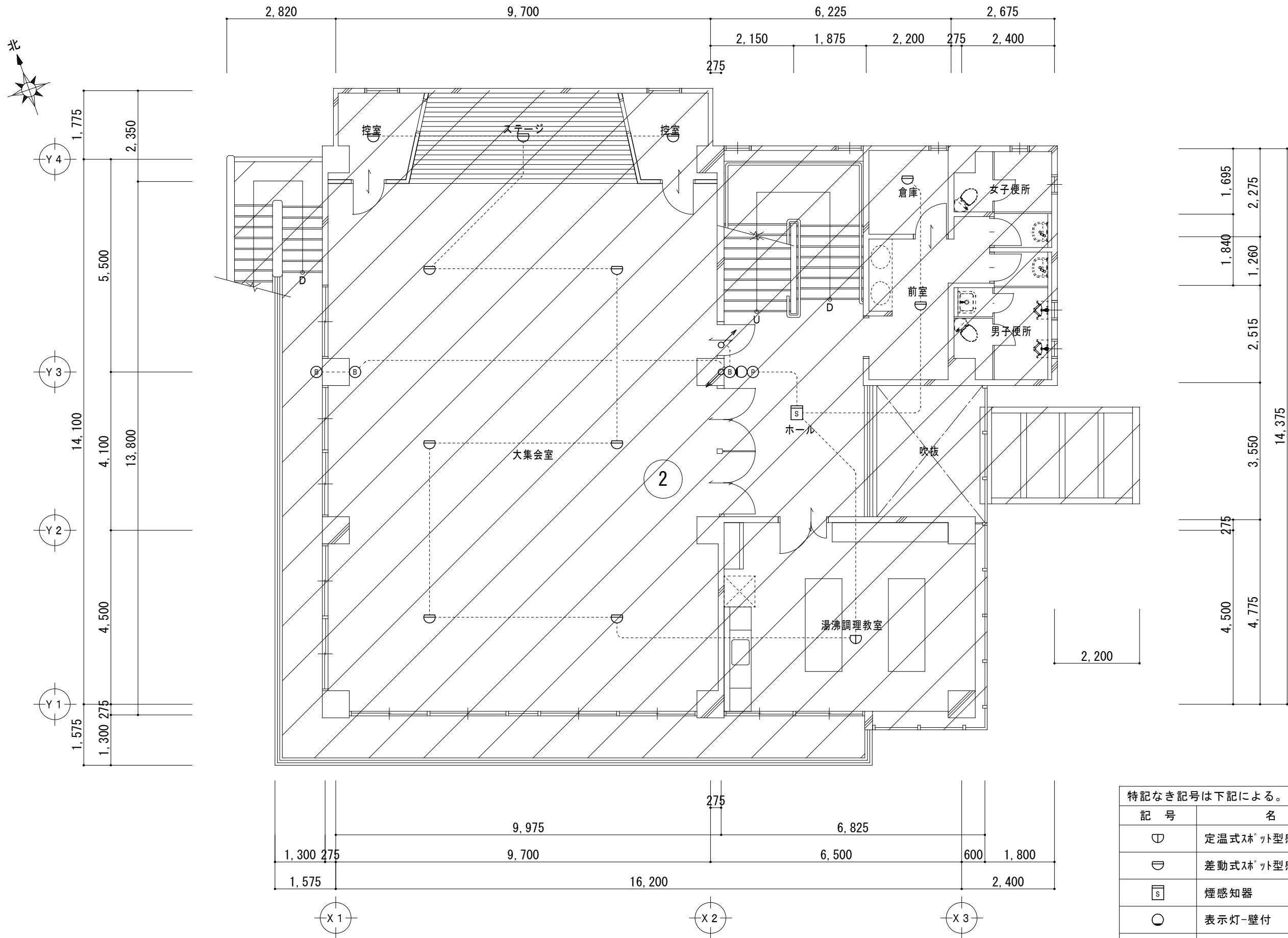
【注記】

- ・点線表記の配線は既設のまます。
- ・配線は天井裏ころがしとし、P S及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP F管にて保護する。
- (立下露出部は金属線びにて保護する)



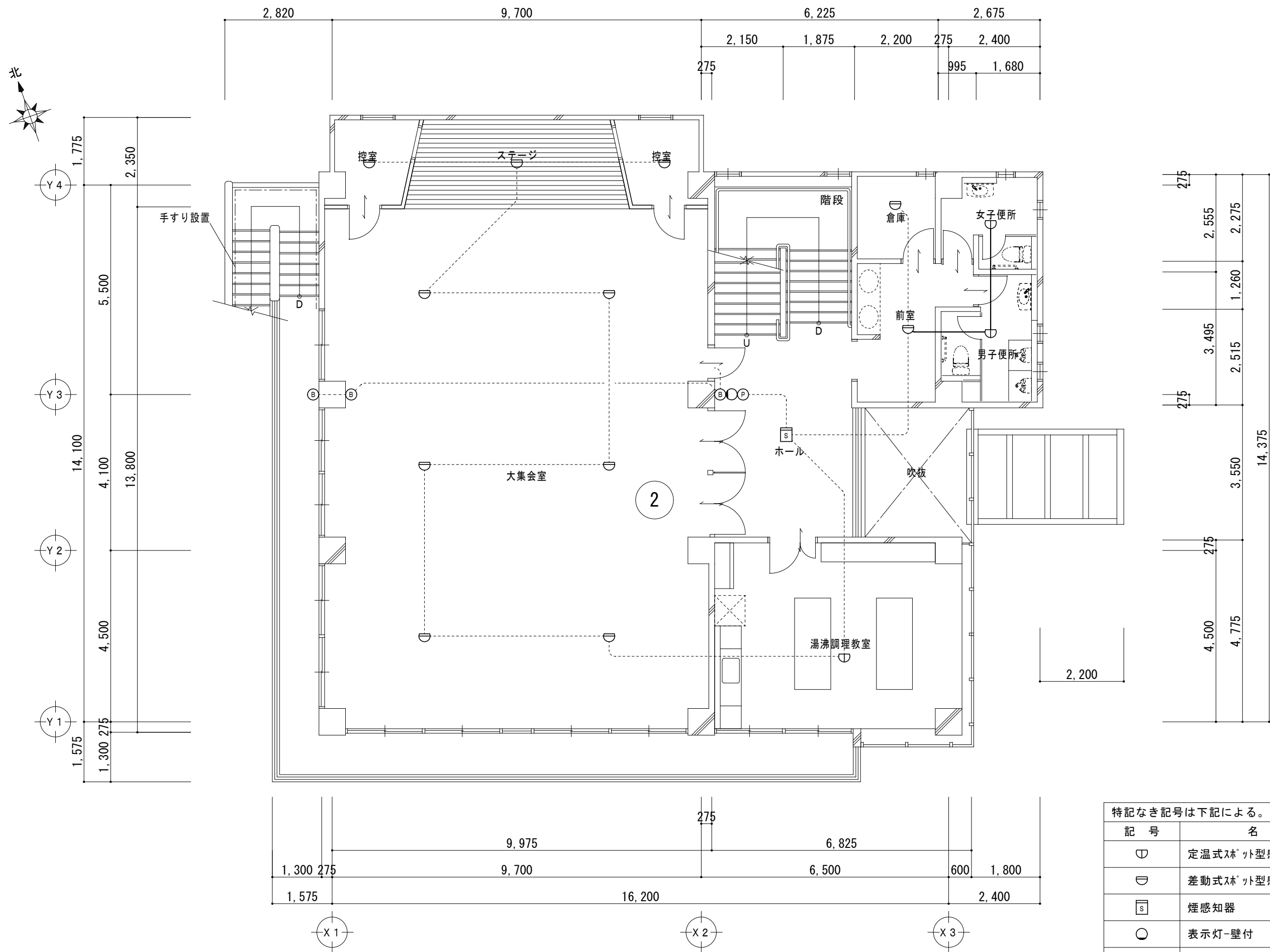
1 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
⌒	定温式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器-防水形	新設
⌒E	定温式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器-防爆形	新設
⌒o	定温式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器-特種	新設
⌒	差動式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器	新設
⌒S	煙感知器	新設
○	表示灯-壁付	新設
⊙	P型発信機	新設
⊙	ﾊﾞﾙ	新設
⊗	受信機	新設
⌒G	検知器-壁掛形	新設

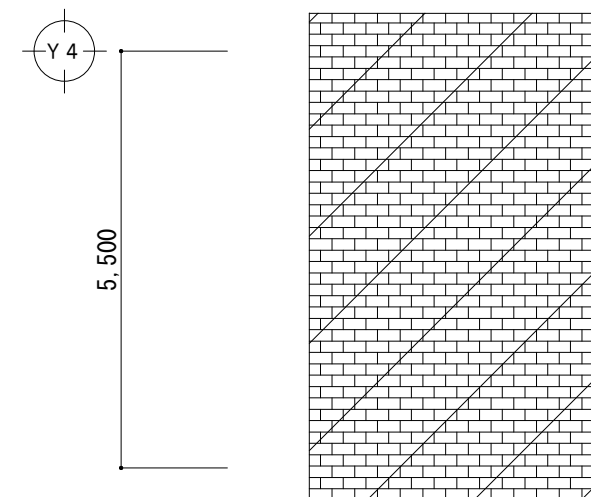
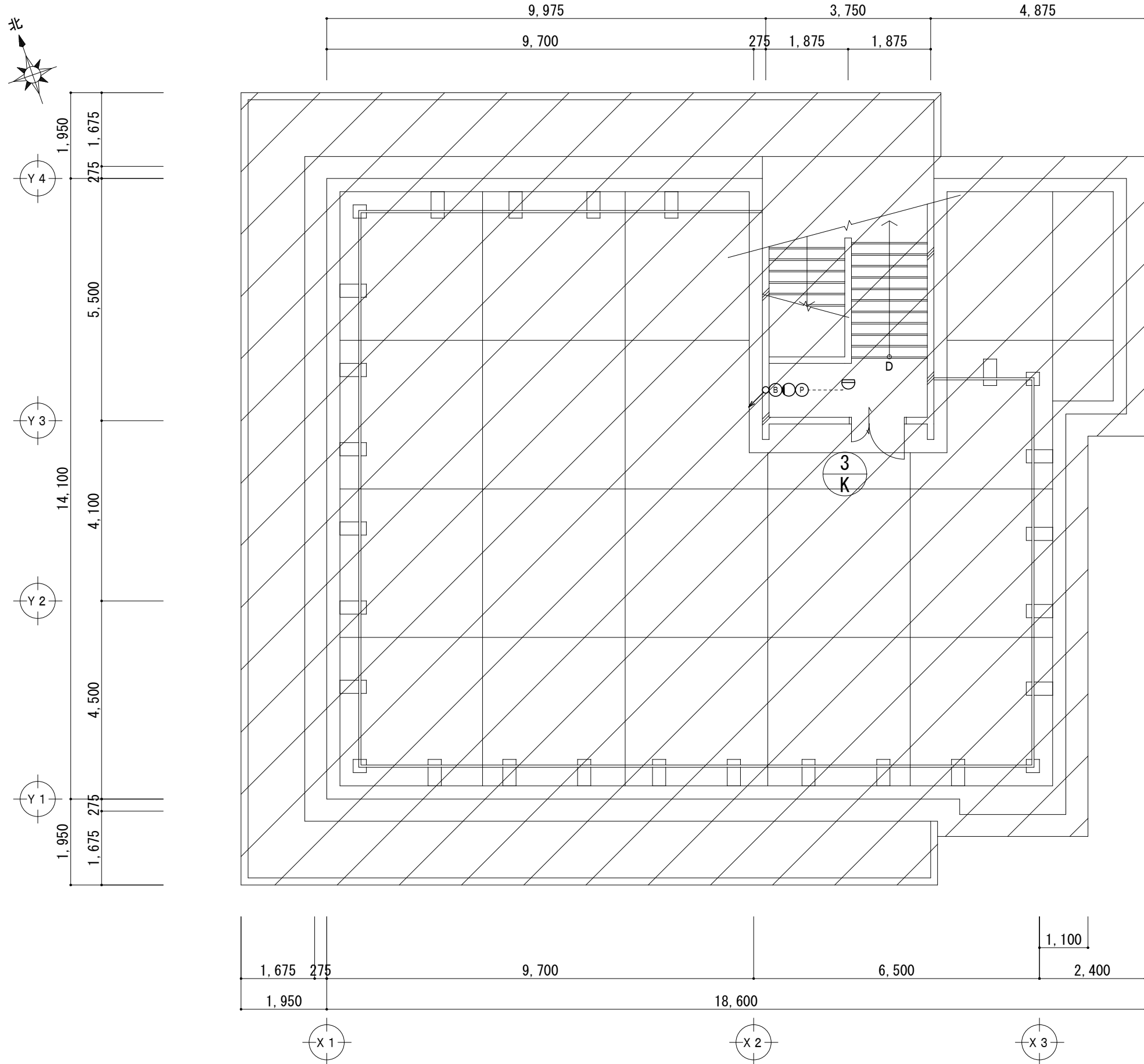


2 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
⌒	定温式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器-防水形	撤去
⌒	差動式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器	撤去
⌒	煙感知器	撤去
○	表示灯-壁付	撤去
Ⓟ	P型発信機	撤去
Ⓟ	ﾊﾞﾙ	撤去

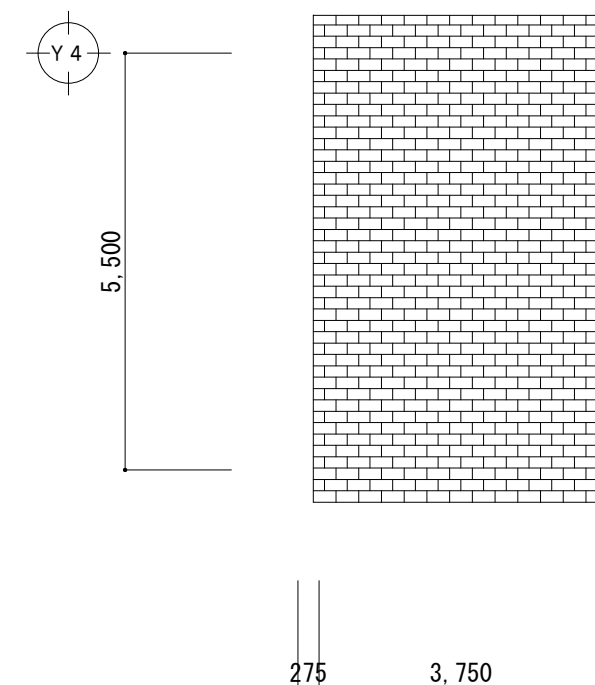
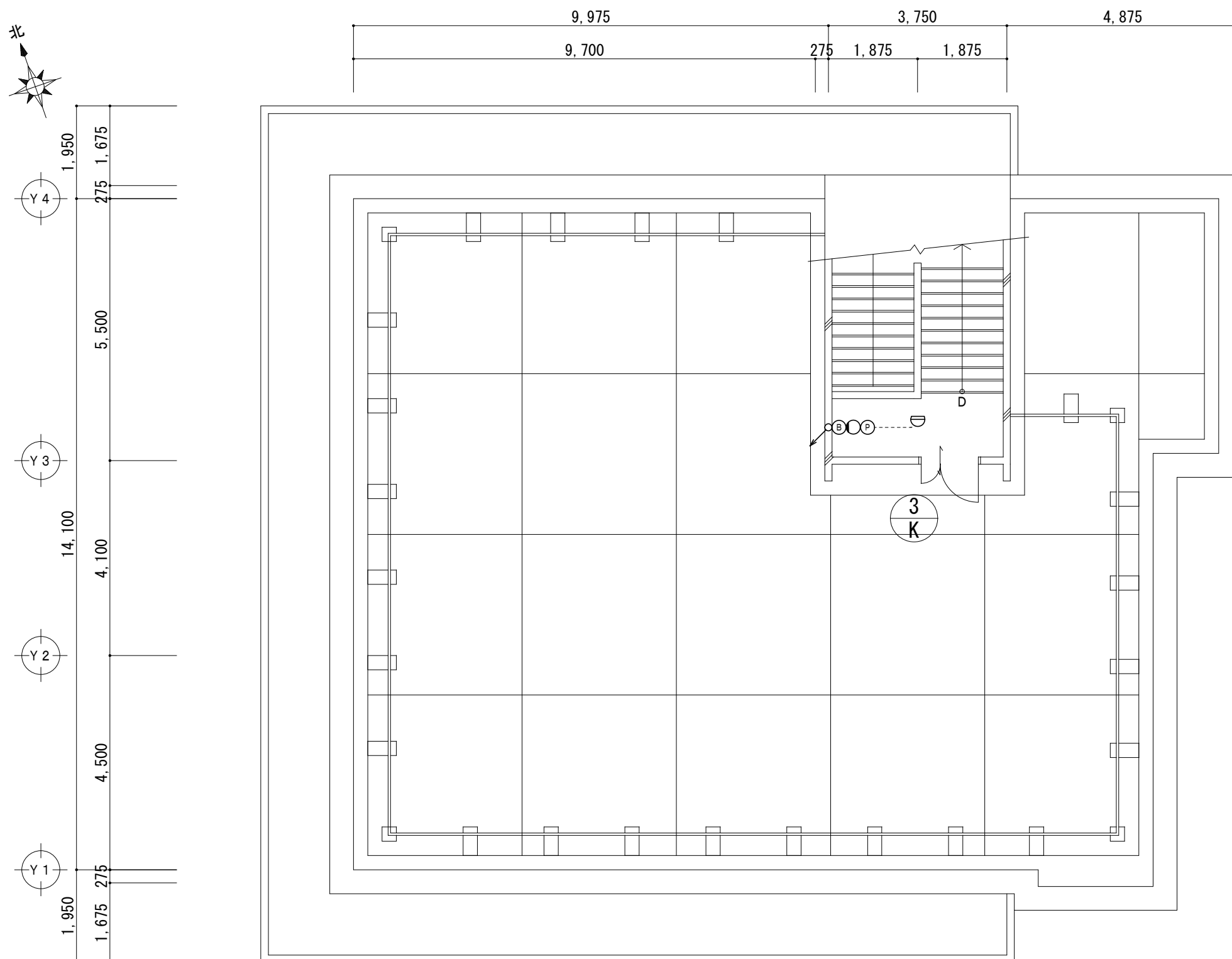


特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
⌚	定温式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器-防水形	新設
☹	差動式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器	新設
☒	煙感知器	新設
○	表示灯-壁付	新設
Ⓟ	P型発信機	新設
ⓑ	ﾊﾞﾙ	新設

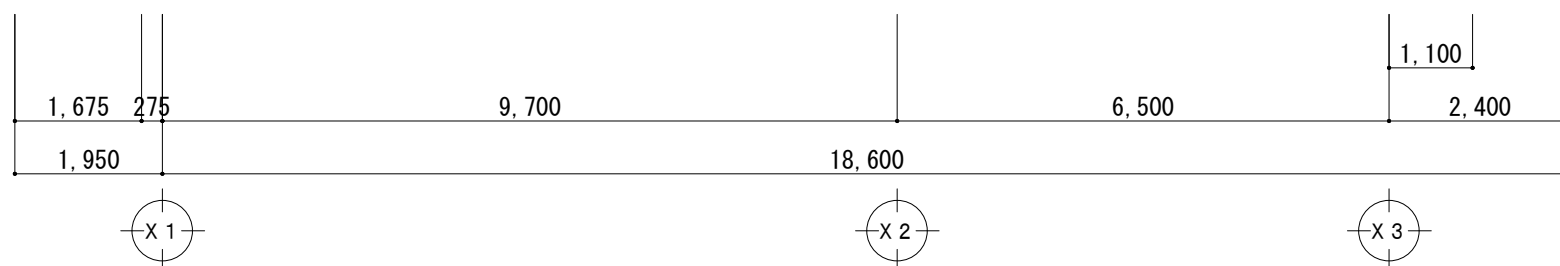


屋 根 伏 図	1/100
---------	-------

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
☐	差動式ｽﾍﾟﾙﾄ型感知器	撤去
○	表示灯-壁付	撤去
Ⓟ	P型発信機	撤去
ⓑ	ﾍﾞﾙ	撤去




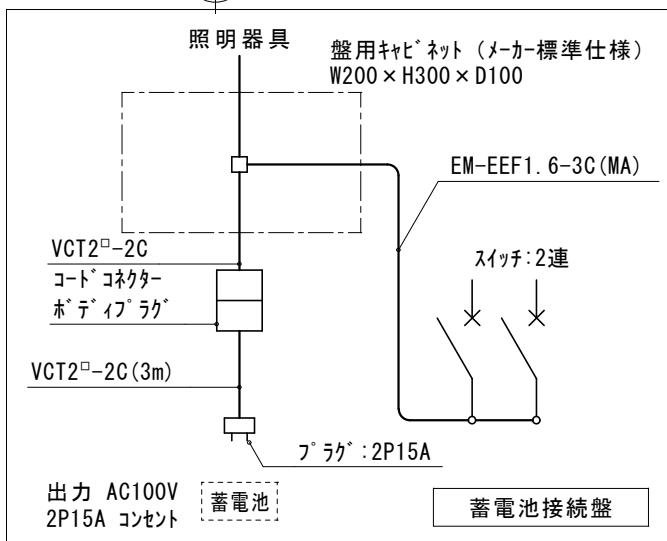
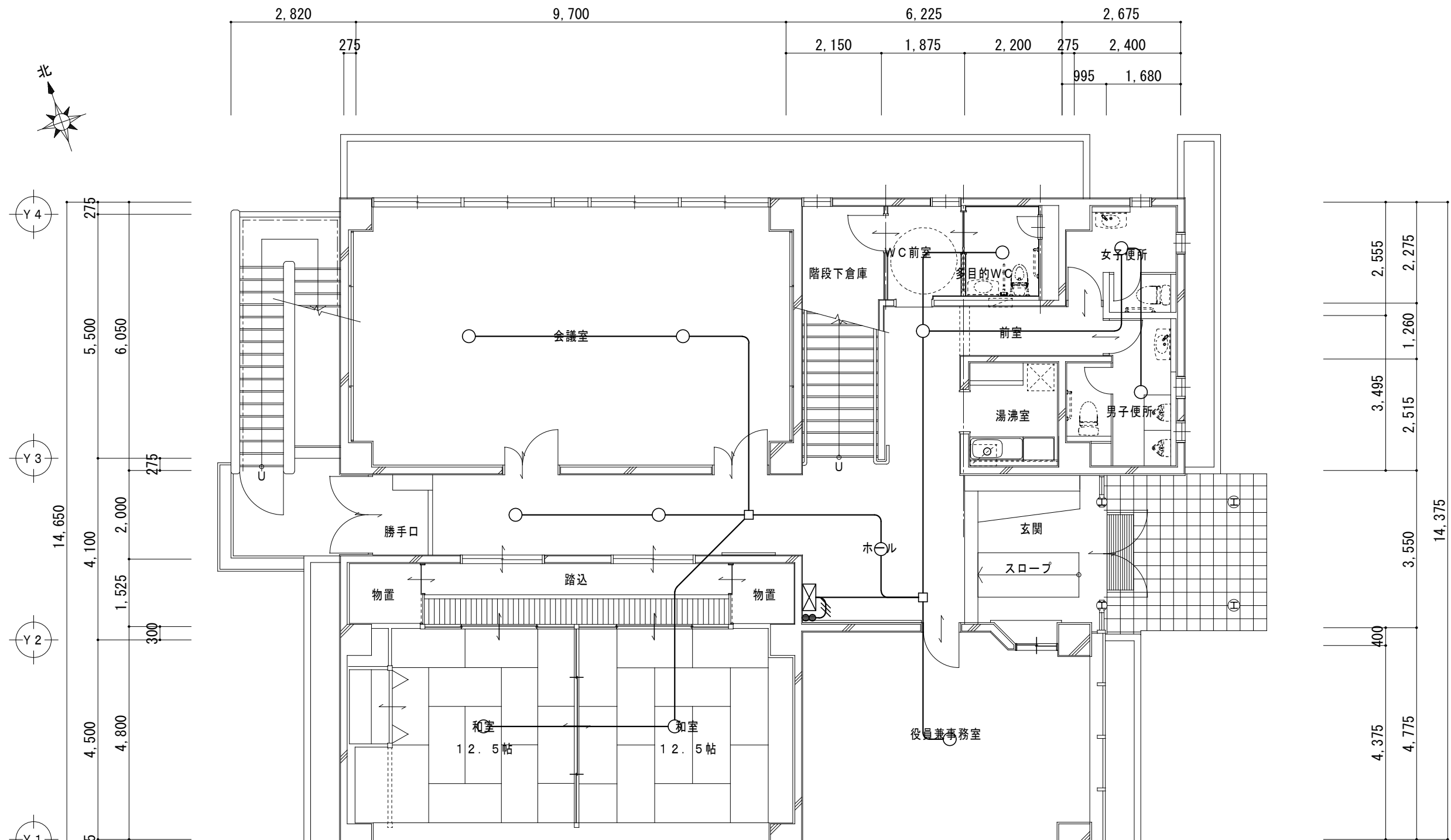
屋 根 伏 図	1/100
---------	-------







R 階 平 面 図	1/100
-----------	-------

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
☐	差動式ｽﾍﾟﾙﾄ型感知器	新設
○	表示灯-壁付	新設
Ⓟ	P型発信機	新設
ⓑ	ﾍﾞﾙ	新設

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）				 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <b>株式 会社 前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子		法適合確認 作図 検図		工事名称 <b>南福崎公民館長寿命化改修工事</b> 図面名称 <b>改修後 自動火災報知設備 R階平面図</b> 縮 尺 A1:1/50 A3:1/100		設計日 R6/3/25 図面番号 E40

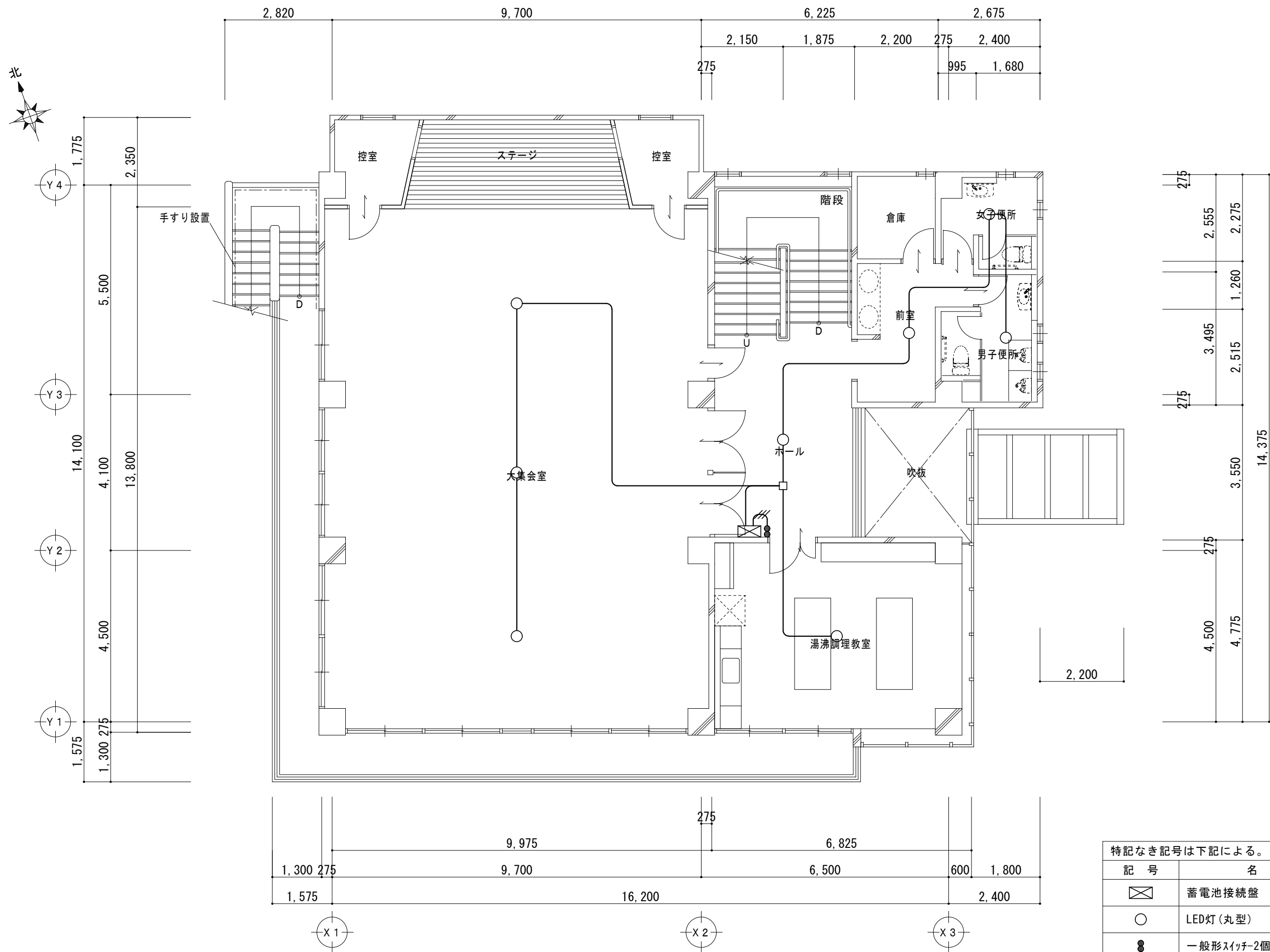


特記なき配線は下記による。	
—————	EM-EEF1.6-2C
————— ///	EM-EEF1.6-3C(MA)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	蓄電池接続盤	新設
	LED灯(丸型)	新設
	一般形スイッチ2個	新設
	ジョイントボックス	新設

1 階 平 面 図 1/100

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）		<div><div><div>MAINDO</div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日	
				一級建築士 第320204号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号	一級建築士 第307846号				<div><div>木部</div><div>南福崎公民館長寿命化改修工事</div></div>	R6/3/25	
				前野 将輝	加藤 早妃	前田 祐作	三橋 五百子				図面名称	縮尺	図面番号
											<div><div>改修後</div><div>停電時電灯設備 1階平面図</div></div>	A1:1/50 A3:1/100	



2 階 平 面 図 1/100

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
⊠	蓄電池接続盤	新設
○	LED灯 (丸型)	新設
●	一般形スイッチ2個	新設
□	ジョイントボックス	新設